

1. 計画に基づく取組みの効果

1.1 評価指標の達成状況

(1) 目標1：公共交通利用者数の維持・向上

- 鉄道利用者数は、現時点（令和2年（2020年））で301千人/日であり、計画策定時（平成28年（2016年））の446千人/日と比べて、約145千人/日減少しており、新型コロナウイルス感染症拡大による影響と考えられます。
- 路線バス利用者は、交通系ICカード実績による推計値をモニタリングしていきます。
- 路線バス利用者数（※交通系ICカード実績による推計値）は、現時点（令和3年（2021年））で約95千人/日であり、計画策定時（平成30年（2018年））の約116千人/日と比べて、約21千人/日減少しており、新型コロナウイルス感染症拡大による影響と考えられます。

表 目標1：公共交通利用者数の維持・向上における評価指標

達成目標	項目	評価指標	指標の定義	指標の計測方法	取得方法	取得時期	計画策定時 平成31年 (2019年)	考え方
目標1：公共交通利用者数の維持・向上								
公共交通利用状況	公共交通利用者数	鉄道利用者数	鉄道乗降客数	市内各鉄道駅の乗降客数の合計	事業者報告	毎年度	446千人/日 (平成28年(2016年))	現状維持
		路線バス利用者数	バス乗降客数	市内各バス停の乗降客数の合計	事業者報告	毎年度	101,618人/日 (平成27年(2015年))	現状維持
			【参考】バス乗降者数 (交通系ICカード実績による推計値)	市内各バス停の乗降客数の合計	事業者報告	毎年度	116,429人/日 (平成30年(2018年))	-

表 目標1：公共交通利用者数の維持・向上における評価指標の達成状況

達成目標	項目	評価指標	指標の定義	令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)	現時点 令和3年 (2021年)
目標1：公共交通利用者数の維持・向上						
公共交通利用状況	鉄道利用者数	鉄道乗降客数		484千人/日 (豊中市統計書)	321千人/日 (豊中市統計書)	301千人/日 (事業者報告)
	路線バス利用者数	【参考】バス乗降者数 (交通系ICカード実績による推計値)		118,489人/日	104,368人/日	95,618人/日

(2) 目標2：公共交通の利便性に対する市民満足度の維持・向上

- 公共交通の利便性に対する満足度のうち、公共交通の充実を理由に豊中市に住み続けたいと思う市民の割合は、前回調査時（令和3年（2021年））では45.7%となっています。

表 目標2：公共交通の利便性に対する市民満足度の維持・向上における評価指標

達成目標	項目	評価指標	指標の定義	指標の計測方法	取得方法	取得時期	計画策定時 平成31年 (2019年)	考え方
目標2：公共交通の利便性に対する市民満足度の維持・向上								
市民生活満足度	公共交通の利便性に対する満足度	市民の公共交通の利便性に対する満足度	豊中市が公共交通の利便性が高いまちだと思ふ市民の割合 (~H30(2018))	豊中市市民意識調査	隔年		80.7% (平成29年(2017年)) 〔平成29年で廃止〕	現状維持
			公共交通の充実を理由に豊中市に住み続けたいと思ふ市民の割合 (H30(2018)~)				48.0% (平成29年(2017年))	

表 目標2：公共交通の利便性に対する市民満足度の維持・向上における評価指標の達成状況

達成目標	項目	評価指標	指標の定義	令和元年 (2019年)	現時点 令和3年 (2021年)
目標2：公共交通の利便性に対する市民満足度の維持・向上					
市民生活満足度	公共交通の利便性に対する満足度	市民の公共交通の利便性に対する満足度	公共交通の充実を理由に豊中市に住み続けたいと思ふ市民の割合	50.4%	45.7%

(3) 目標3：公共交通を利用しやすい人口割合の維持・向上

- 交通空白地は、令和3年（2021年）で0%となりました。
 - 交通不便地は、計画策定時（平成27年（2015年））と比べ減少しており、不便地以外の居住地の割合は人口で94.1%、面積で83.4%となっています。
- ※交通空白地：鉄道駅勢圏（半径1.0km）及びバス停勢圏（半径500m）以外の地域
 交通不便地：鉄道駅勢圏（半径800m）及びバス停勢圏（半径300m）以外の地域
 （バス停はピーク時運行本数が片道3本以上のバス停が対象、ピーク時とは平日の7時～8時台とする）

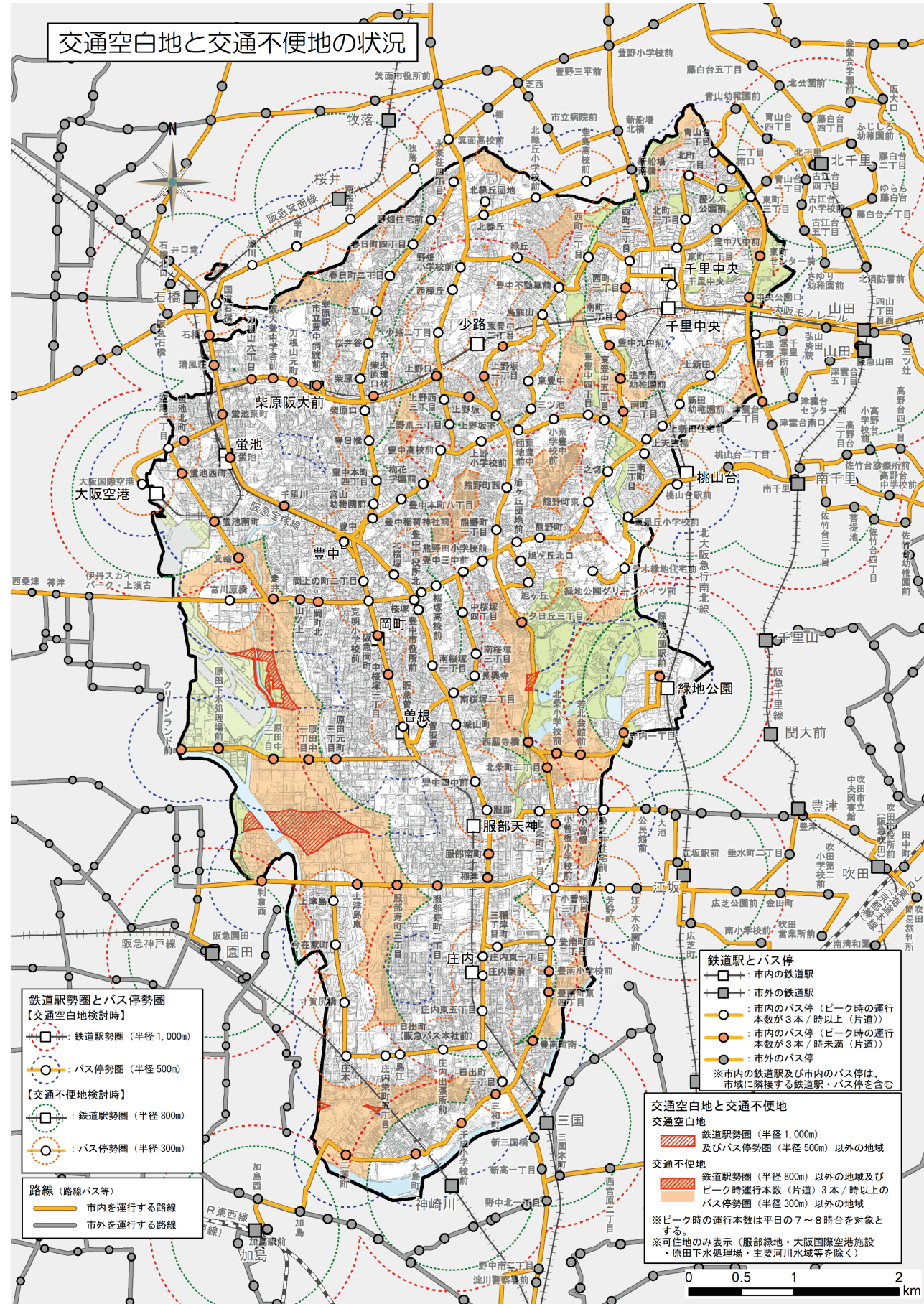
表 目標3：公共交通を利用しやすい人口割合の維持・向上における評価指標

達成目標	項目	評価指標	指標の定義	指標の計測方法	取得方法	取得時期	〔計画策定時〕 平成31年 (2019年)	考え方
目標3：公共交通を利用しやすい人口割合の維持・向上								
公共交通力バ－率	公共交通力バ－率	交通空白地等以外の居住地面積割合 〔市の居住地面積に対する交通空白地及び交通不便地以外の居住地割合〕	市の居住地面積に対する交通空白地及び不便地以外の面積割合	施策実施による交通空白地及び不便地の変化を確認し、居住地面積を集計	計画の中で示す地図ベース	随時	交通空白地以外 99.1% (平成28年(2016年)) 交通不便地以外 82.9% (平成28年(2016年))	増加
		交通空白地等以外の人口割合 〔市の総人口に対する交通空白地及び交通不便地以外の居住地人口割合〕	市の総人口に対する交通空白地及び不便地以外に居住する人口の割合	施策実施による交通空白地及び不便地の変化を確認し、国勢調査の町丁目別人口を集計	計画の中で示す地図ベース	随時	交通空白地以外 99.8% (平成27年(2015年)) 交通不便地以外 87.2% (平成27年(2015年))	増加

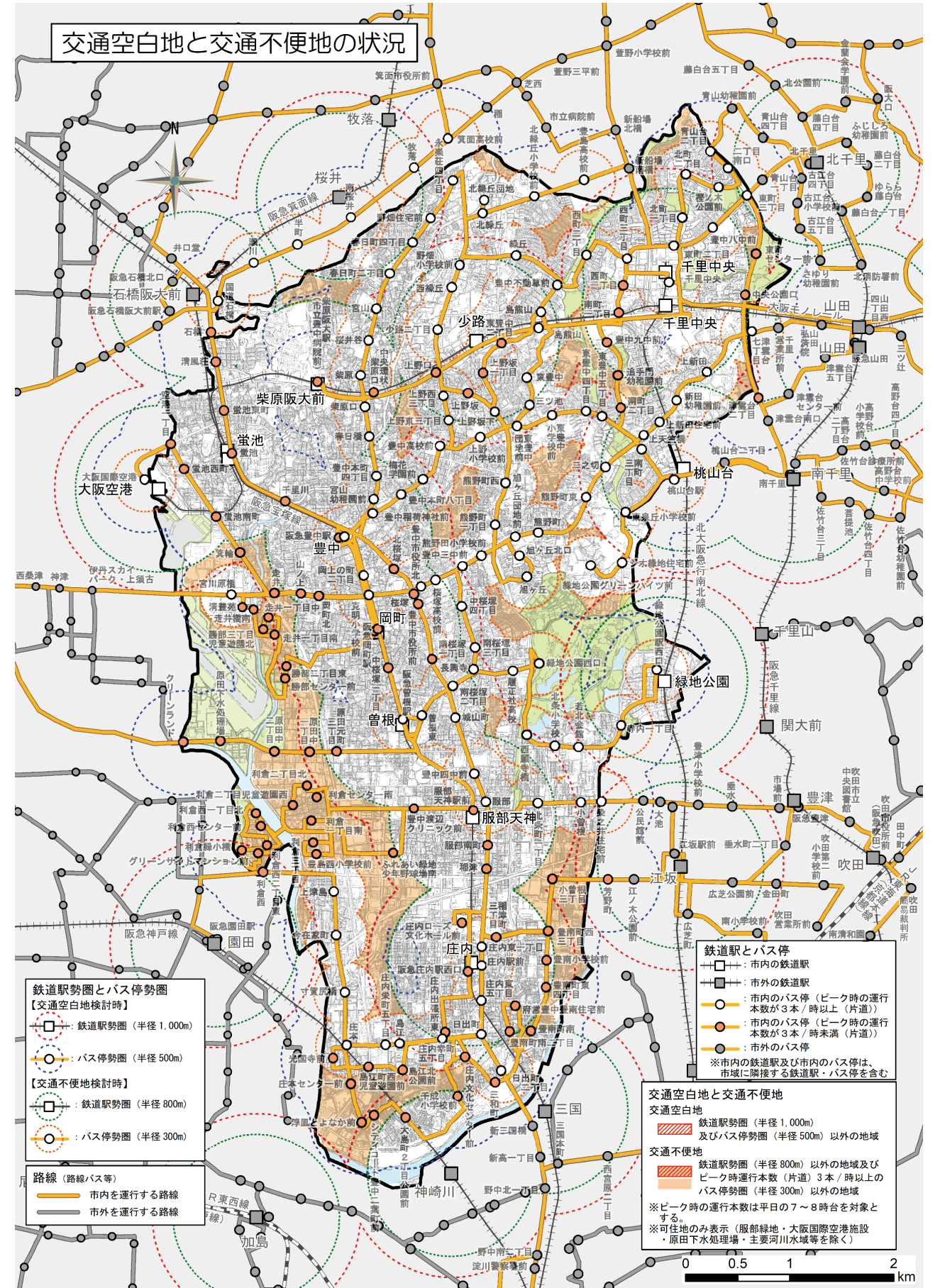
表 目標3：公共交通を利用しやすい人口割合の維持・向上における評価指標の達成状況

達成目標	項目	評価指標	指標の定義	令和2年 (2020年)	現時点 令和3年 (2021年)
目標3：公共交通を利用しやすい人口割合の維持・向上					
公共交通力バ－率	公共交通力バ－率	交通空白地等以外の居住地面積割合 〔市の居住地面積に対する交通空白地及び交通不便地以外の居住地割合〕	交通空白地及び不便地以外の面積割合	交通空白地以外 100.0%	交通空白地以外 100.0%
			鉄道駅及びバス停勢圏の面積割合 〔参考値〕	交通不便地以外 82.9%	交通不便地以外 83.4%
		交通空白地等以外の人口割合 〔市の総人口に対する交通空白地及び交通不便地以外の居住地人口割合〕	交通空白地及び不便地以外に居住する人口割合	交通空白地以外 100.0%	交通空白地以外 100.0%
			鉄道駅及びバス停勢圏に居住する人口割合 〔参考値〕	交通不便地以外 87.2%	交通不便地以外 94.1%

■平成31年(2019年)2月末時点
【豊中市公共交通改善計画策定時】



■令和4年(2022年)6月末時点
【現時点】



3.2 公共交通マップの作成と配布

- 市内への転入届の提出時に、公共交通関連情報の提供として、阪急バスが作成した「阪急バスのノリセツ」の配布を昨年度から実施しています。
- 市内への転入者を対象に、公共交通を実際に利用してもらう機会づくりの創出を図るために、市内の公共交通の情報を分かり易く伝えるための公共交通マップを作成し、転入者等に前述の無料乗車券付き公共交通利用案内と合わせて配布及び市の施設の窓口等に配架します。

- 用紙サイズ：A2 裏表 1 枚カラー刷り、十字折り
- 乗合タクシーやシェアサイクルの情報を載せることで事業の周知を図る。

● 豊中市公共交通マップ

公共交通を利用して出かけよう！
こんなメリットがあります！

- ①環境にやさしい：二酸化炭素排出量の比較。バスは乗客1人あたり約1.5kg、乗車1台あたり約690kg(乗車1人)。
- ②家計にやさしい：1台の自動車1年使用した場合は、約10万円。公共交通利用は約1万円。
- ③健康増進効果：1時間の自動車による移動を電車やバスに置き換えると、約60分間の歩行が実現。

豊中市公共交通マップ
豊中市都市基盤部交通政策課 発行
令和4年(2022年)7月

マイカーに頼らなくても出かけるように
豊中市は、交通利便性の高いまちと評価されている一方で、駅やバスの停留所から離れた地域や、そのような地域課題の解決や、公共交通の存続のため、公共交通の改善の考え方をとまとめた「豊中市公共交通改善計画」に基づき取組を進めています。

乗合タクシー「MinaNotte」
駅やバスの停留所から少し離れた地域と最寄りの鉄道駅を繋ぐ公共交通で、一般のタクシーとは異なり、路線バスのように停留所やダイヤが決まっています。停留所やルートは、裏面の公共交通マップでご確認ください。

シェアサイクル
市内のポート(自転車)の貸出・返却(専用)で自転車の貸出・返却が可能です。

hanica
現金チャージで8%のプレミア。hanicaについてはこちら。

アプリで便利！
阪急バスアプリ

豊中市公共交通マップ
令和4年(2022年)7月現在

このマップは、市内の主要な公共交通ルート、駅、バス停、タクシー乗り場などを詳細に示しています。また、各路線の運行時刻や料金情報も掲載されています。

4. 公共交通利用状況調査結果

4.1 目的

- 日ごろの移動の状況や、公共交通をどのように利用されているか、また、市の施策に対してのご意見・ご要望を確認することで、今後の公共交通施策の検討や改善策の参考とさせていただくため、アンケート調査を実施しました。

4.2 アンケート調査実施概要

(1) 調査方法

- 住民基本台帳から無作為抽出による郵送配布・郵送および電子回収

(2) 調査対象者

- 本市在住の15歳以上の市民

(3) 調査規模

- 市内全域：合計8,000部/回配布

(4) 調査時期

- 令和4年（2022年）5月12日（木）～5月30日（月）

(5) 調査項目

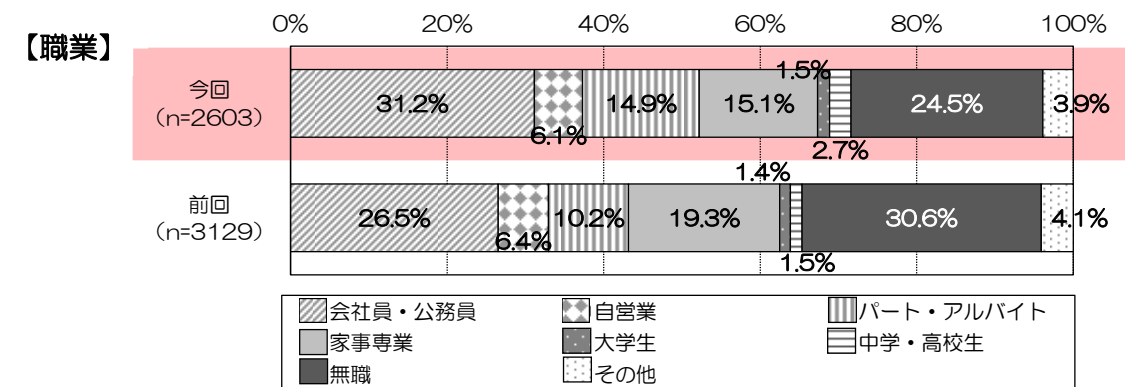
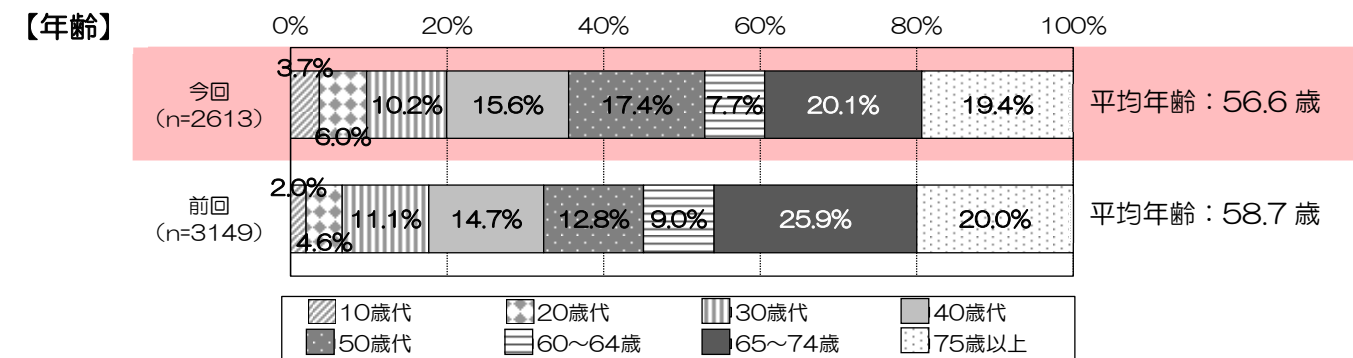
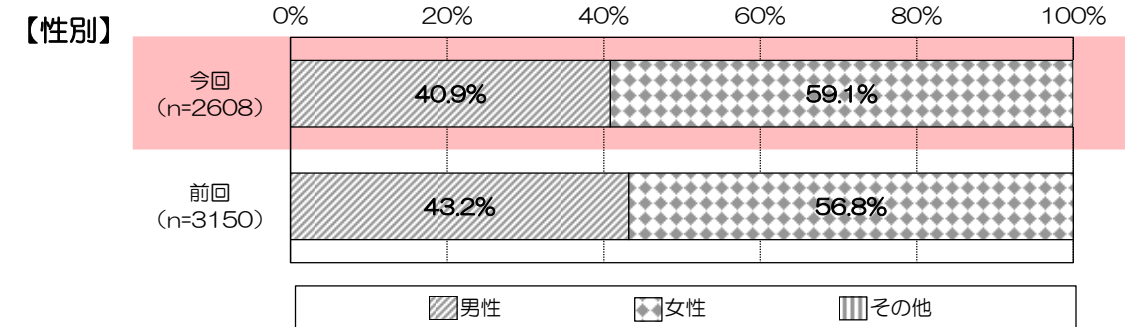
- ① 日常の外出について
 - ・通勤・通学時、買い物時、通院時、通勤・通学、買い物、通院以外の移動
- ② 豊中市乗合タクシー（Mina Notte）について
 - ・認知状況
- ③ シェアサイクル実証実験について
 - ・認知状況
- ④ 属性

【参考】前回の公共交通利用状況調査の回答状況

- ・配布部数：8,000部（平成26年（2014年）9月実施）
- 回収部数：3,154部、回答率：39.4%

4.3 回答状況

- 回収部数が2,618部、回答率が32.7%です。
- 回答者の平均年齢は56.6歳であり、高齢者及び10年以内に高齢者となる世代の割合が、約半数を占めるアンケートデータです。
- 前回と比べ、40歳代及び50歳代の回答が増加し、家事専業及び無職の割合が減少しています。

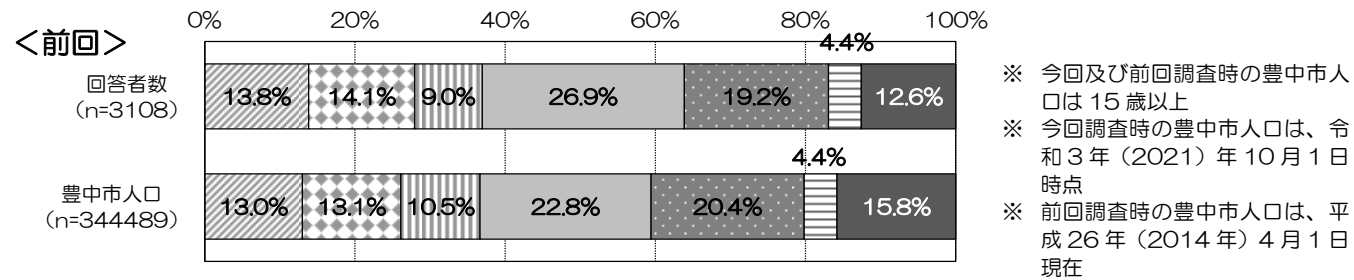


【サンプル数の見方について】

- ・基数となるべき実数は「n」（回答者数）、複数回答が可能な設問では総回答数を「N」としている。

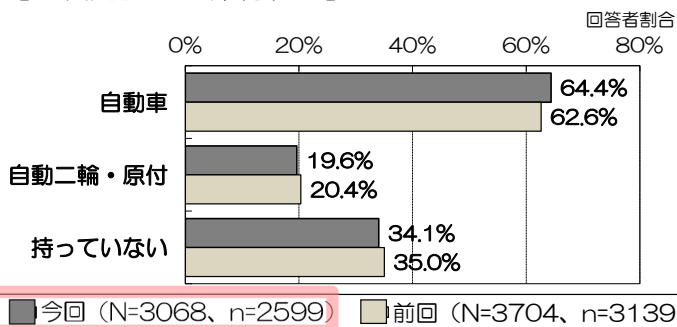
➤ 住まいの地域は、豊中市人口の構成比及び前回調査時とほぼ同じ傾向です。

【住まいの地域】



- 運転免許証の保有状況は、「自動車」が約 64%、持っていないが約 34%であり、前回調査時とほぼ同じ傾向です。
- 運転免許証の保有状況を年齢別で見ると、「自動車」は、20 歳代から 50 歳代で 80%以上、75 歳以上で約 22%です。「持っていない」は 10 歳代が約 94%と最も高く、次いで 75 歳以上が約 77%です。
- 運転免許証の保有状況を住まいの地域別で見ると、「自動車」は全ての地域で 50%以上を占め、「持っていない」は南部地域で約 46%と最も高くなっています。

【運転免許証の保有状況】



【運転免許証の保有状況 (住まいの地域別)】

地域	自動車	自動二輪・原付	持っていない	合計
全体 (N=3068, n=2599)	64.4%	19.6%	34.1%	118.0%
北部地域 (N=413, n=349)	68.2%	20.3%	29.8%	118.3%
北東部地域 (N=456, n=394)	62.9%	17.0%	35.8%	115.7%
東部地域 (N=343, n=294)	66.3%	18.0%	32.3%	116.7%
中北部地域 (N=720, n=603)	68.5%	21.2%	29.7%	119.4%
中部地域 (N=640, n=537)	64.1%	20.5%	34.6%	119.2%
西部地域 (N=90, n=75)	66.7%	20.0%	33.3%	120.0%
南部地域 (N=349, n=300)	52.3%	18.0%	46.0%	116.3%

【運転免許証の保有状況 (年齢別)】

<今回>

年齢	自動車	自動二輪・原付	持っていない	合計
全体 (N=3068, n=2599)	64.4%	19.6%	34.1%	118.0%
10歳代 (N=97, n=96)	6.3%	1.0%	93.8%	101.0%
20歳代 (N=183, n=158)	80.4%	17.1%	18.4%	115.8%
30歳代 (N=336, n=267)	86.1%	27.7%	12.0%	125.8%
40歳代 (N=521, n=405)	90.1%	29.6%	8.9%	128.6%
50歳代 (N=587, n=455)	85.9%	31.0%	12.1%	129.0%
60~64歳 (N=239, n=200)	77.0%	22.0%	20.5%	119.5%
65~74歳 (N=582, n=518)	55.6%	14.1%	42.7%	112.4%
75歳以上 (N=519, n=497)	22.1%	5.6%	76.7%	104.4%

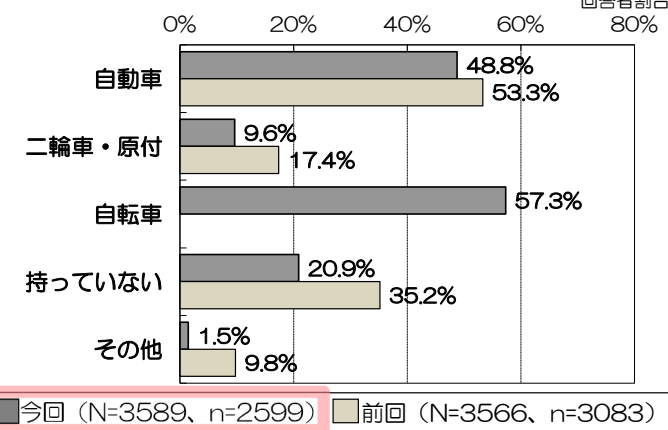
<前回>

年齢	自動車	自動二輪・原付	持っていない	合計
全体 (N=3704, n=3139)	62.6%	20.4%	35.0%	118.0%
10歳代 (N=64, n=63)	9.5%	3.2%	88.9%	101.6%
20歳代 (N=168, n=145)	78.6%	19.3%	17.9%	115.9%
30歳代 (N=450, n=348)	90.2%	31.6%	7.5%	129.3%
40歳代 (N=596, n=462)	91.3%	29.7%	8.0%	129.0%
50歳代 (N=497, n=400)	84.3%	25.3%	14.8%	124.3%
60~64歳 (N=341, n=283)	65.7%	26.1%	28.6%	120.5%
65~74歳 (N=928, n=811)	54.5%	18.1%	41.8%	114.4%
75歳以上 (N=647, n=622)	22.8%	5.9%	75.2%	104.0%

- 乗り物等の保有状況は、「自転車」が約 57%と最も高く、次いで「自動車」が約 49%、「持っていない」が約 21%の順です。
- 乗り物等の保有状況を年齢別で見ると、「自動車」は 20 歳代から 60~64 歳で概ね 50%以上、「自転車」は 10 歳代から 65~74 歳で 50%以上、「持っていない」は 75 歳以上で約 48%を占めます。
- 乗り物の保有状況を住まいの地域別で見ると、「自動車」は北部地域、北東部地域、東部地域、中北部地域、西部地域で 50%以上、「自転車」は中北部地域、中部地域、西部地域、南部地域で 60%以上です。

【乗り物等の保有状況】

<※今回と前は選択肢が異なる>



※ 前回調査での選択肢は、自動車、二輪車・原付、持っていない、その他の 4 つ

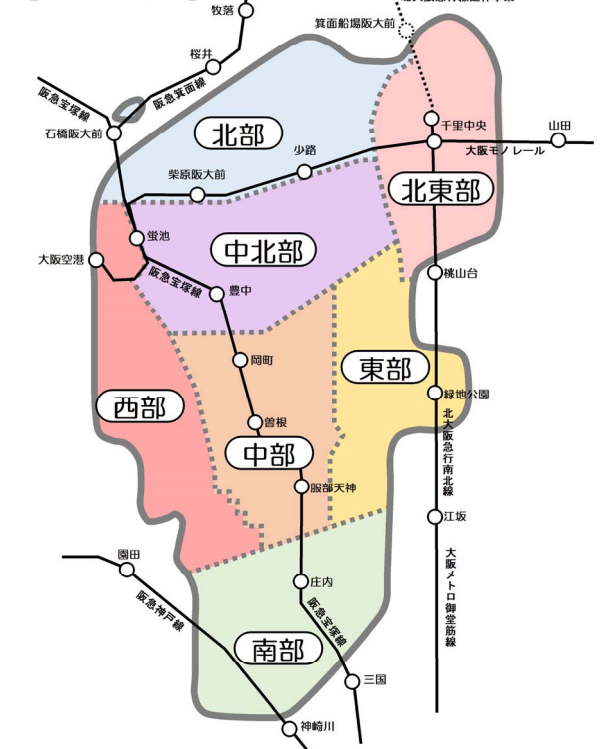
【乗り物等の保有状況 (年齢別)】

年齢	自動車	二輪車・原付	自転車	持っていない	その他	合計
全体 (N=3589, n=2599)	48.8%	9.6%	57.3%	20.9%	1.5%	138.1%
10歳代 (N=109, n=96)	17.7%	0.0%	84.4%	11.5%	0.0%	113.5%
20歳代 (N=225, n=158)	48.7%	8.2%	69.6%	15.2%	0.6%	142.4%
30歳代 (N=395, n=267)	59.2%	10.5%	66.7%	10.9%	0.7%	147.9%
40歳代 (N=648, n=406)	66.7%	13.3%	71.4%	7.9%	0.2%	159.6%
50歳代 (N=686, n=452)	60.6%	14.2%	62.6%	13.5%	0.9%	151.8%
60~64歳 (N=285, n=198)	60.1%	14.6%	52.0%	17.2%	0.0%	143.9%
65~74歳 (N=684, n=521)	45.7%	8.1%	54.3%	22.1%	1.2%	131.3%
75歳以上 (N=553, n=496)	22.8%	3.6%	32.5%	47.8%	4.8%	111.5%

【乗り物等の保有状況 (住まいの地域別)】

地域	自動車	二輪車・原付	自転車	持っていない	その他	合計
全体 (N=3589, n=2599)	48.8%	9.6%	57.3%	20.9%	1.5%	138.1%
北部地域 (N=495, n=347)	58.2%	12.1%	50.1%	21.0%	1.2%	142.7%
北東部地域 (N=503, n=392)	51.3%	5.9%	40.6%	29.1%	1.5%	128.3%
東部地域 (N=392, n=292)	50.0%	9.2%	55.1%	19.2%	0.7%	134.2%
中北部地域 (N=852, n=604)	50.5%	9.1%	60.9%	18.9%	1.7%	141.1%
中部地域 (N=756, n=537)	45.3%	10.1%	62.9%	20.9%	1.7%	140.8%
西部地域 (N=109, n=76)	51.3%	13.2%	61.8%	17.1%	0.0%	143.4%
南部地域 (N=419, n=303)	36.6%	11.9%	70.3%	17.5%	2.0%	138.3%

【地域区分図】

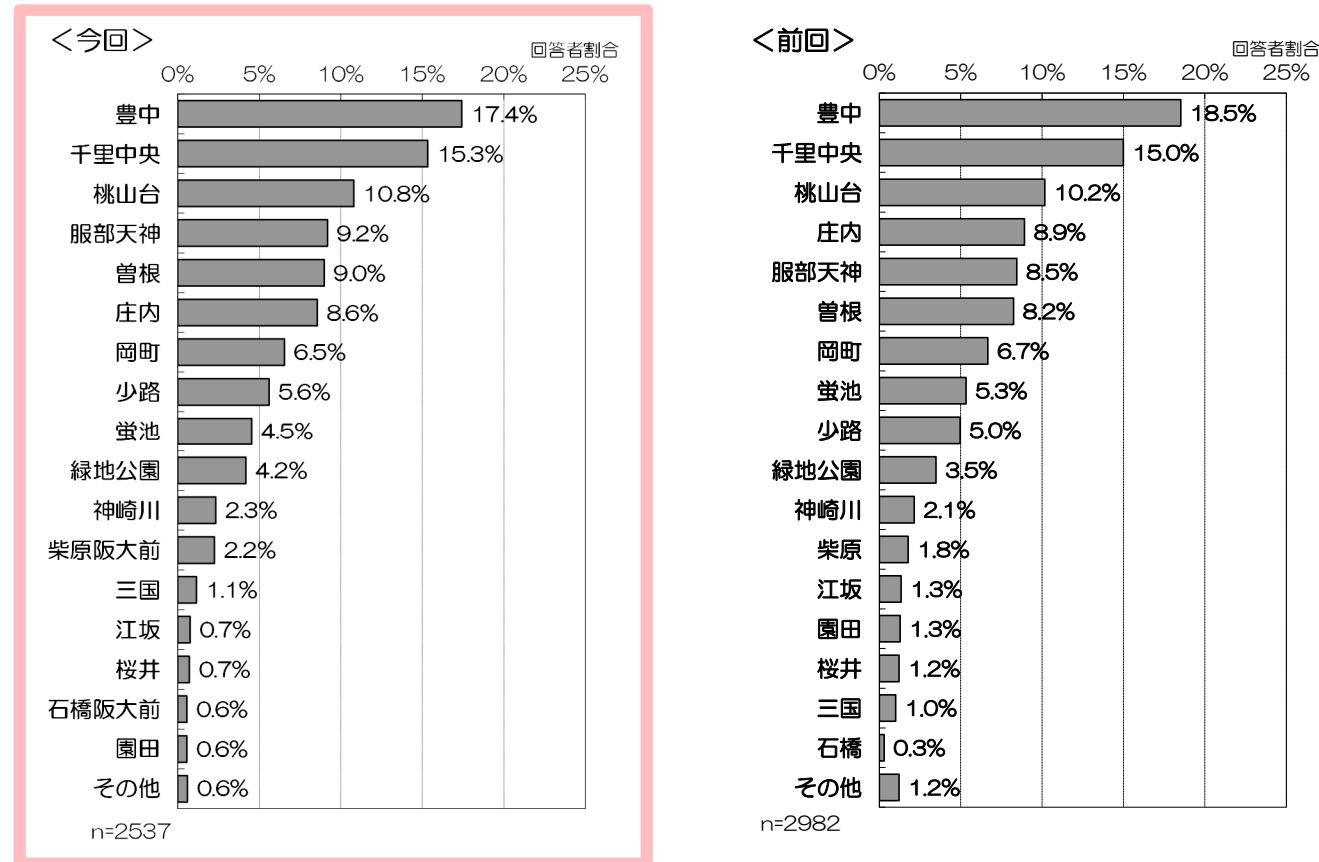


4.4 自宅から最寄り駅へのアクセス状況

(1) 自宅からの最寄り駅

- 最寄り駅は、「豊中」が最も多く、次いで「千里中央」、「桃山台」、「服部天神」、「曽根」、「庄内」の順です。
- 前回調査時と比べて、順位の入替わりが見受けられるものの、大きな変化は見られません。

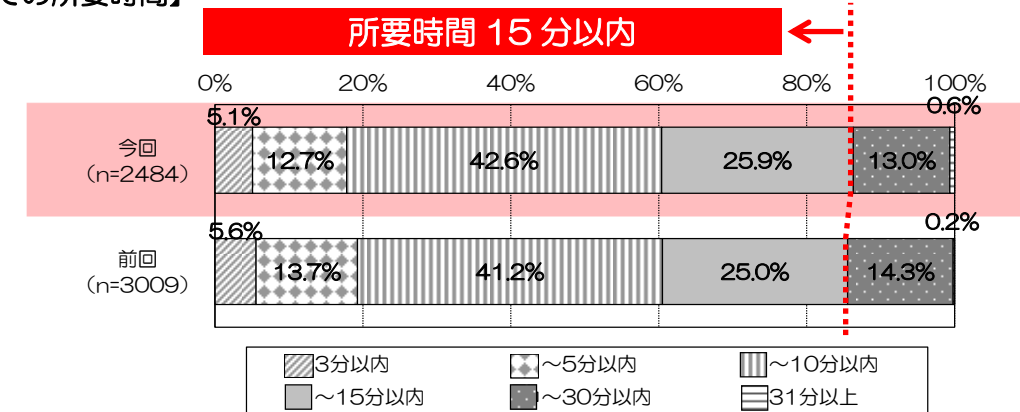
【自宅からの最寄り駅】



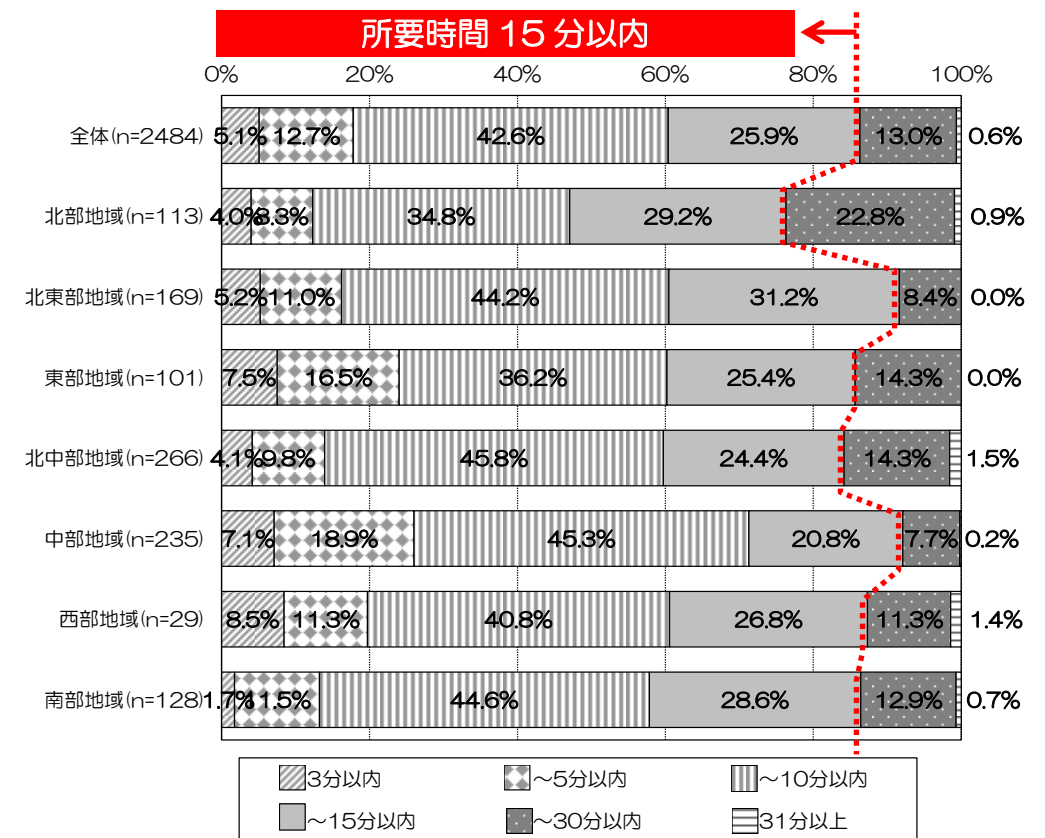
(2) 最寄り駅までの所要時間

- 最寄り駅までの所要時間は、「10分以内」までが約60%、「15分以内」までが80%以上を占めます。また、前回調査時とほぼ同じ傾向です。
- 最寄り駅までの所要時間を住まいの地域別に見ると、中部地域では「15分以内」までの割合が最も多く、北部地域では「15分以内」までの割合が最も低くなっています。

【最寄り駅までの所要時間】

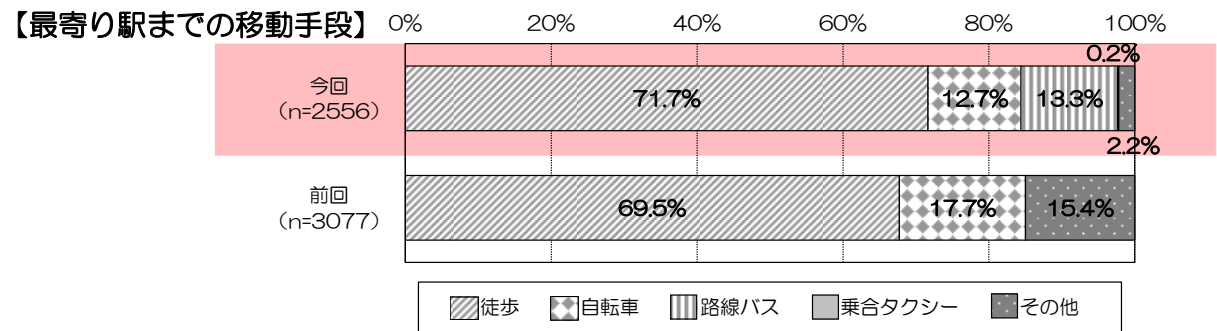


【最寄り駅までの所要時間（住まいの地域別）】



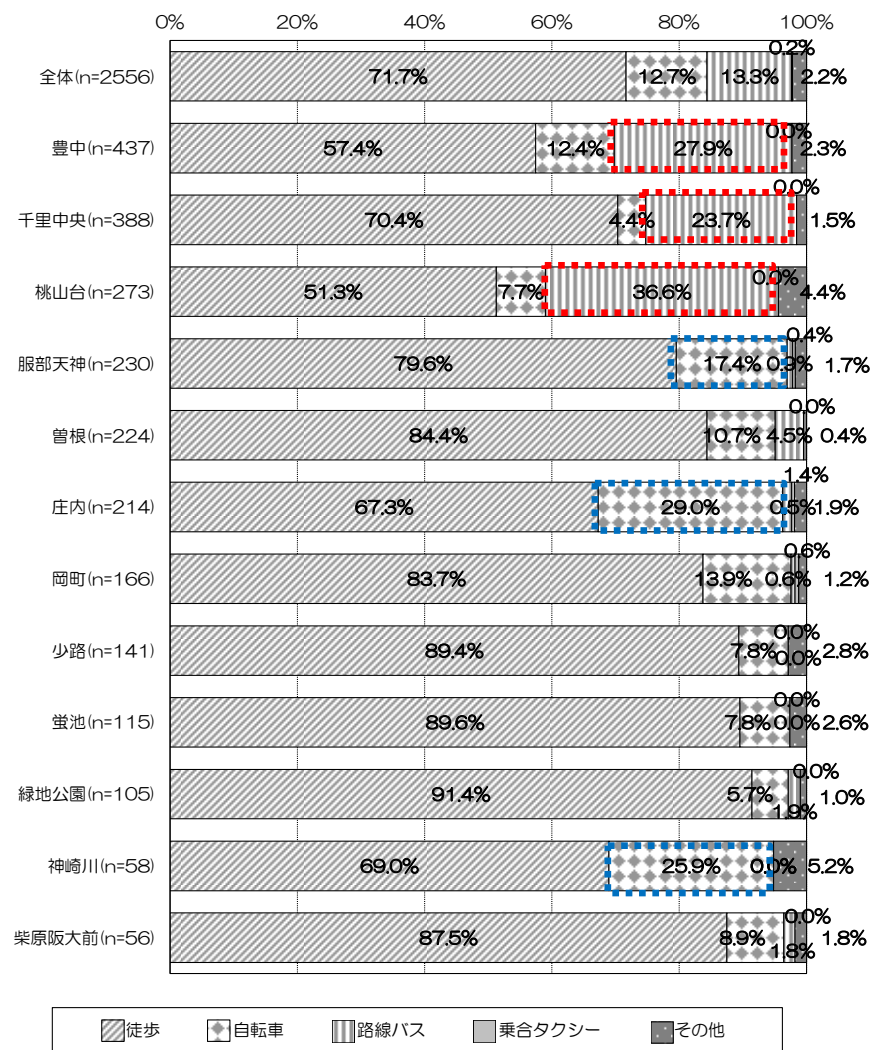
(3) 最寄り駅までの移動手段

- 最寄り駅までの移動手段は、「徒歩」が最も多く、次いで「路線バス」、「自転車」の順です。
- 最寄り駅までの移動手段を最寄り駅別で見ると、全ての最寄り駅で「徒歩」が最も多くなっています。「路線バス」は豊中、千里中央、桃山台、「自転車」は服部天神、庄内、神崎川において、他駅と比べて割合が高くなっています。



※ 前回調査での選択肢は、徒歩、自転車、その他の3つのみ

【最寄り駅までの移動手段（最寄り駅別）】

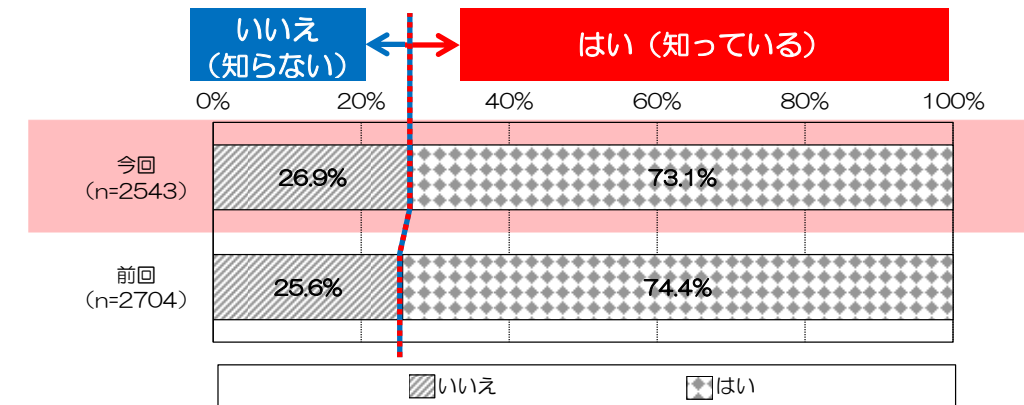


4.5 最寄りバス停の認知状況と所要時間

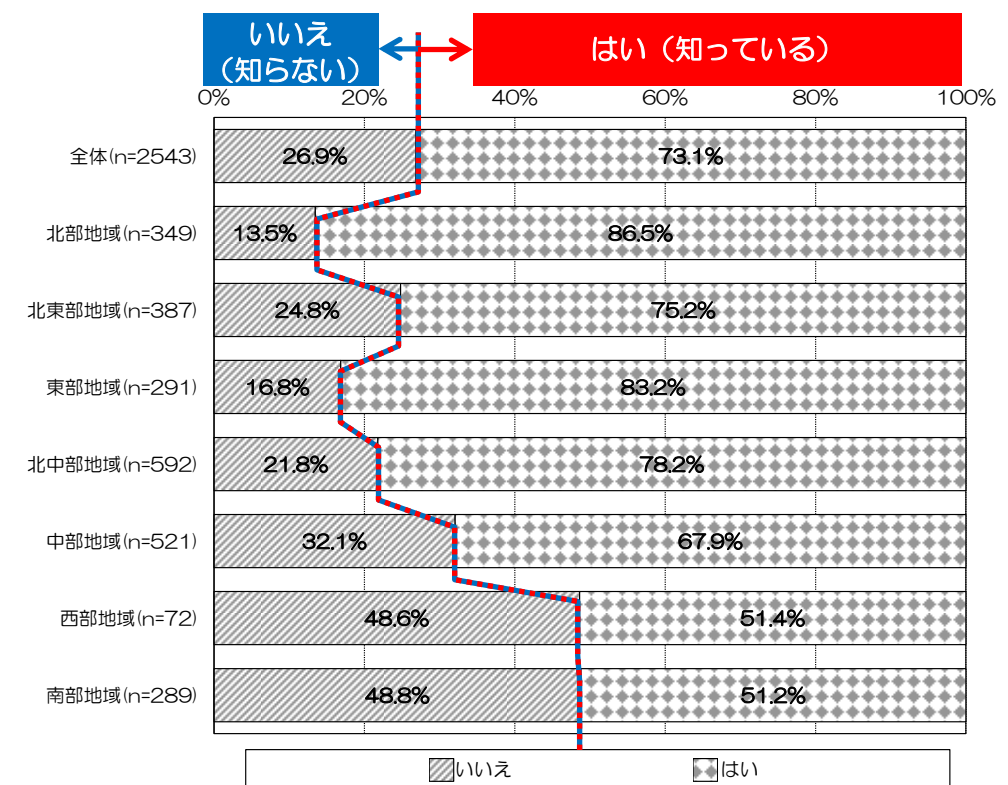
(1) 最寄りバス停の認知状況

- 最寄りバス停の認知状況は、「はい」が約73%を占めています。また、前回調査時とほぼ同じ傾向です。
- 最寄りバス停の認知状況を住まいの地域別で見ると、西部地域及び南部地域において、「いいえ」の割合が他地域と比べて高くなっています。

【最寄りバス停の認知状況】



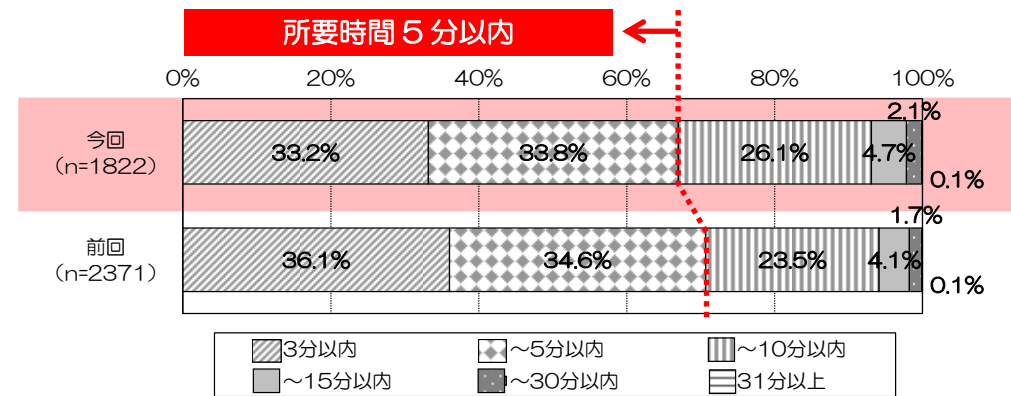
【最寄りバス停の認知状況（住まいの地域別）】



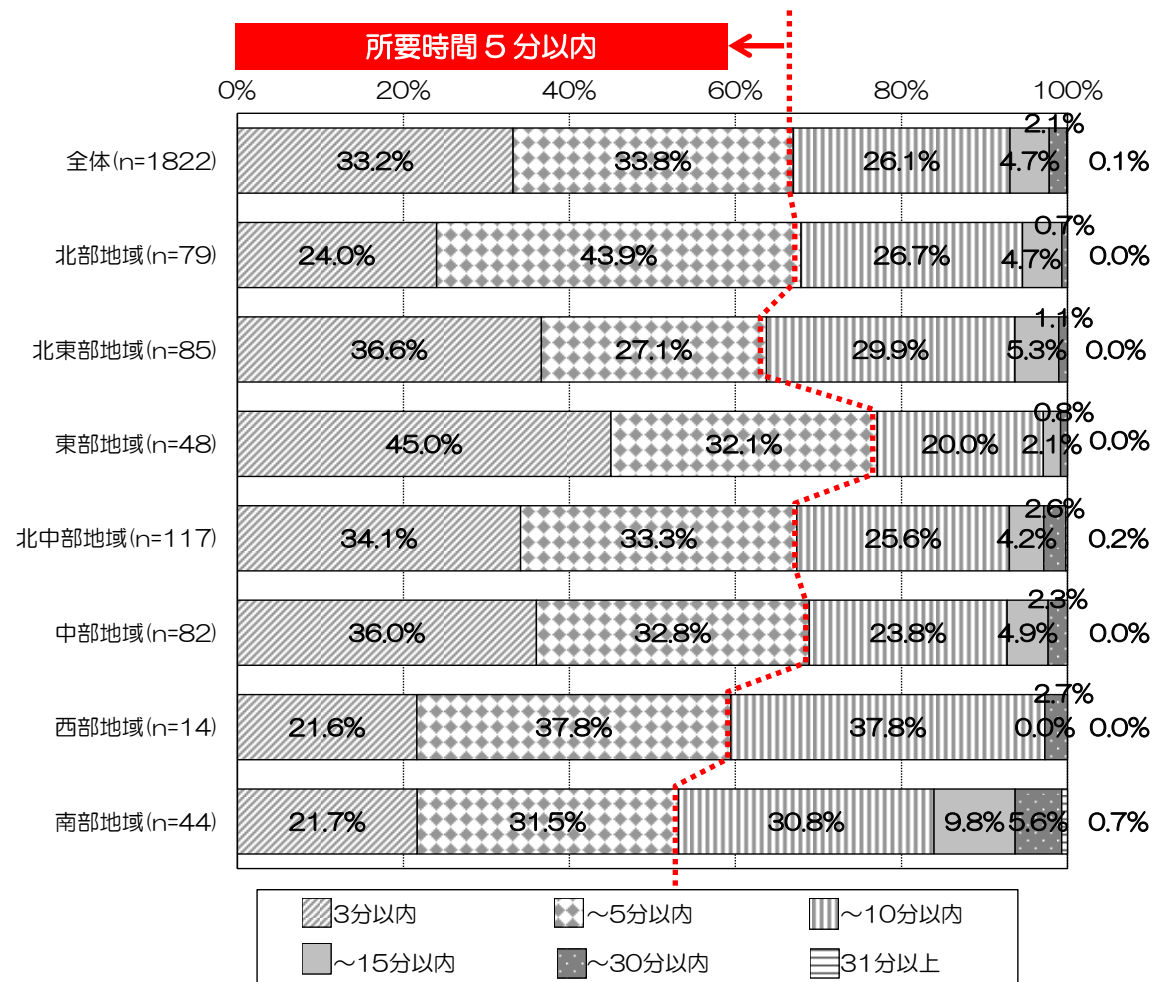
(2) 徒歩での最寄りバス停までの所要時間

- ▶ 徒歩での最寄りバス停までの所要時間は、「5分以内」までが約67%を占めています。また、前回調査時とほぼ同じ傾向です。
- ▶ 徒歩での最寄りバス停までの所要時間を住まいの地域別で見ると、東部地域では「5分以内」までの割合が他地域と比べて高くなっています。西部地域及び南部地域では「10分まで」の割合が他地域と比べて高くなっています。

【徒歩での最寄りバス停までの所要時間】



【徒歩での最寄りバス停までの所要時間（住まいの地域別）】

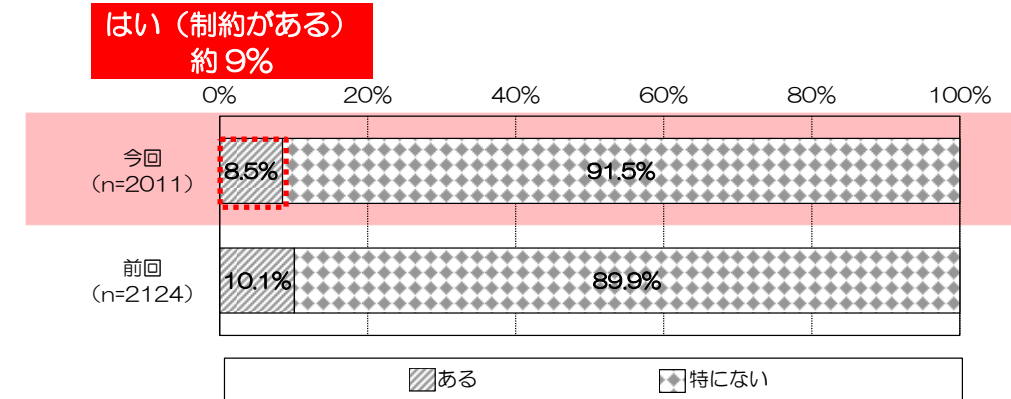


4.6 公共交通が不便なことによる日常生活での移動制約の有無

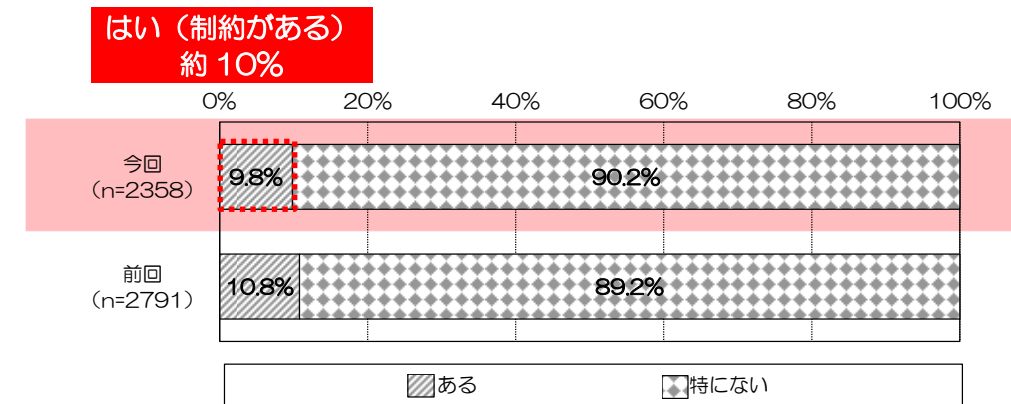
(1) 各外出時における移動制約の有無

- ▶ 公共交通が不便なことによる日常生活での移動制約を見ると、「ある」の割合は通勤・通学で約9%、買い物で約10%、通院で約11%です。また、前回調査時とほぼ同じ傾向です。

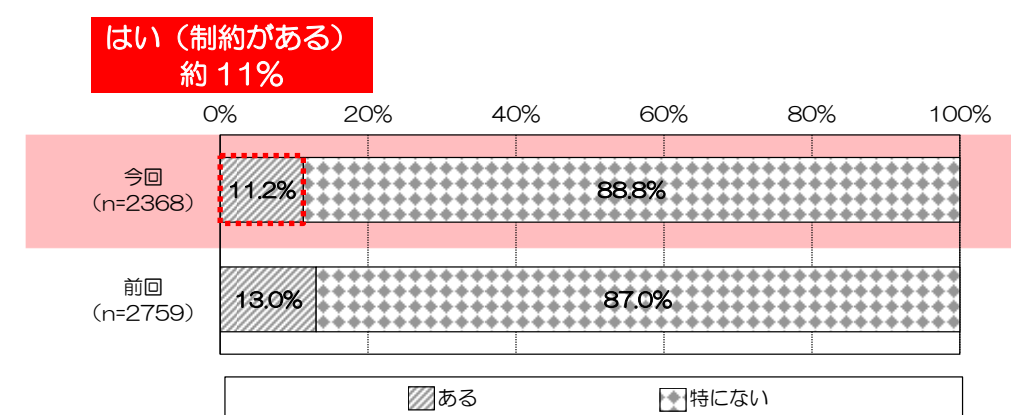
【通勤・通学での移動制約の有無】



【買い物での移動制約の有無】



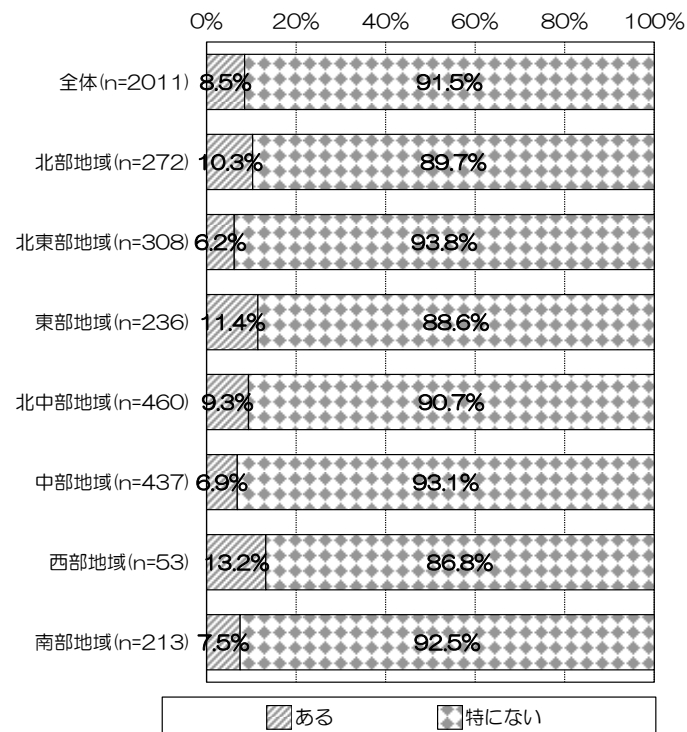
【通院での移動制約の有無】



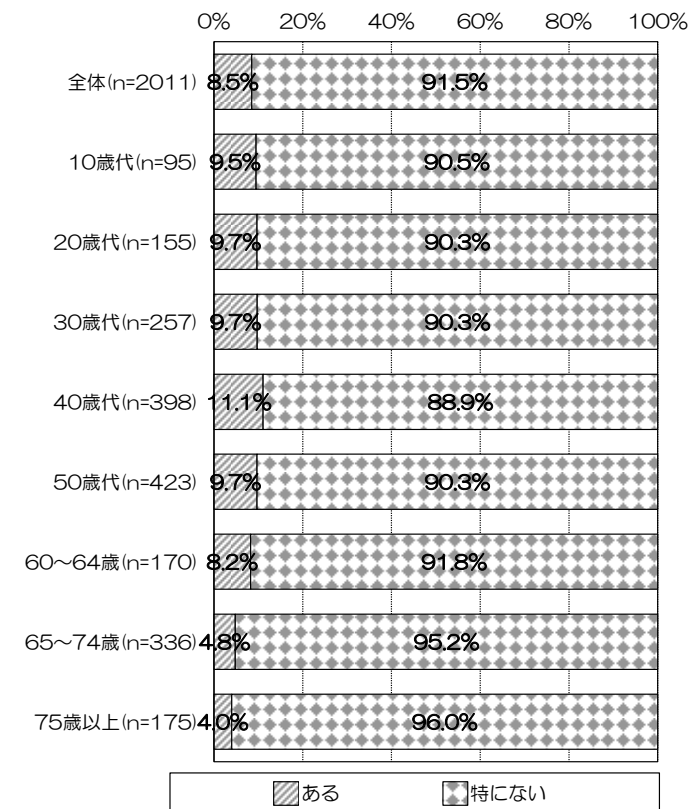
(2) 通勤・通学での移動制約

- 通勤・通学での移動制約の有無を住まいの地域別で見ると、「ある」の割合は10%前後となっています。西部地域で約13%と最も高く、次いで東部地域が約11%です。
- 通勤・通学での移動制約の有無を年齢別で見ると、「ある」の割合は10歳代から60～64歳にかけて、10%前後となっており、特に割合の高い世代は見受けられません。

【通勤・通学での移動制約の有無
(住まいの地域別)】



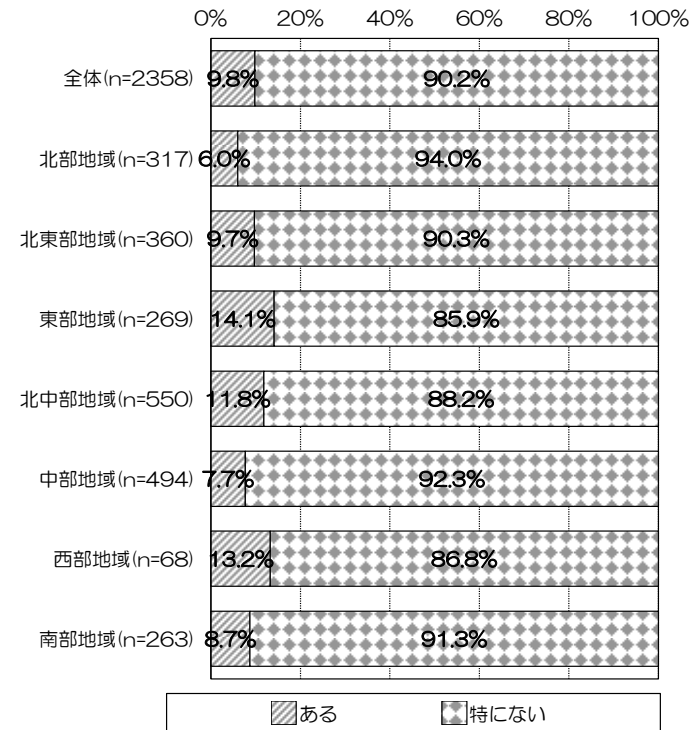
【通勤・通学での移動制約の有無 (年齢別)】



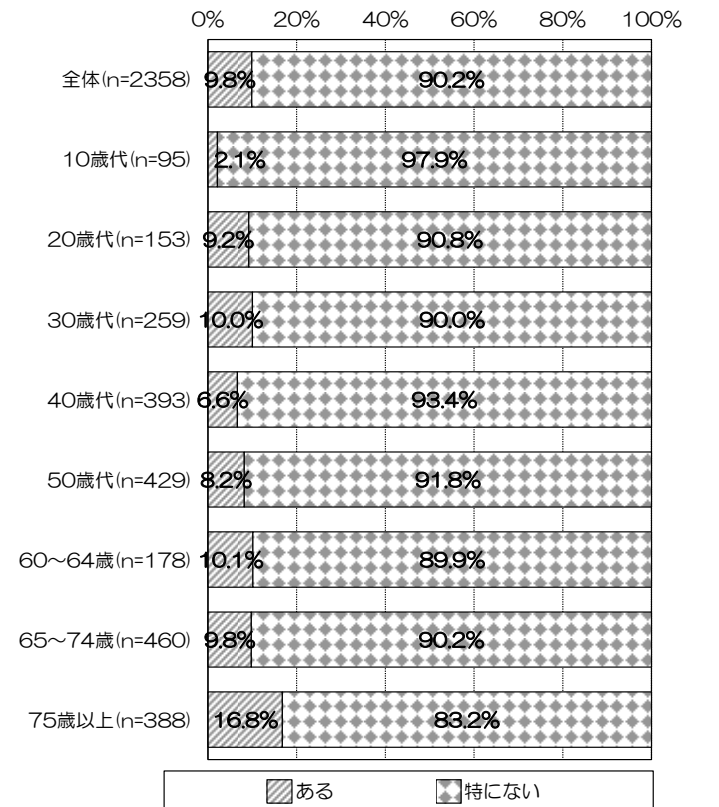
(3) 買い物での移動制約

- 買い物での移動制約の有無を住まいの地域別で見ると、「ある」の割合は10%前後となっています。東部地域で約14%と最も高く、次いで西部地域が約13%です。
- 買い物での移動制約の有無を年齢別で見ると、「ある」の割合は75歳以上で約17%と最も高く、次いで60～64歳、30歳代がともに約10%です。

【買い物での移動制約の有無 (住まいの地域別)】



【買い物での移動制約の有無 (年齢別)】



【市内の公共交通が不便なことによる通勤・通学における主な具体的制約】

バスの便数が少ない
バス時刻が適していない (通勤・通学時、通塾時、帰宅時)
雨の日にバスが遅延する
雨の日など桃山台のロータリーへなかなかバスが入れず、時間がかかる
雨の日はバスの利用者が多く混んでいる
豊中駅でバスで乗り換えが必要
東西に走るバスが少ない (伊丹方面、江坂方面、新大阪方面など)
バスで大阪モノレール少路駅に行けない
通学手段が自転車しかない
高校に通いにくい

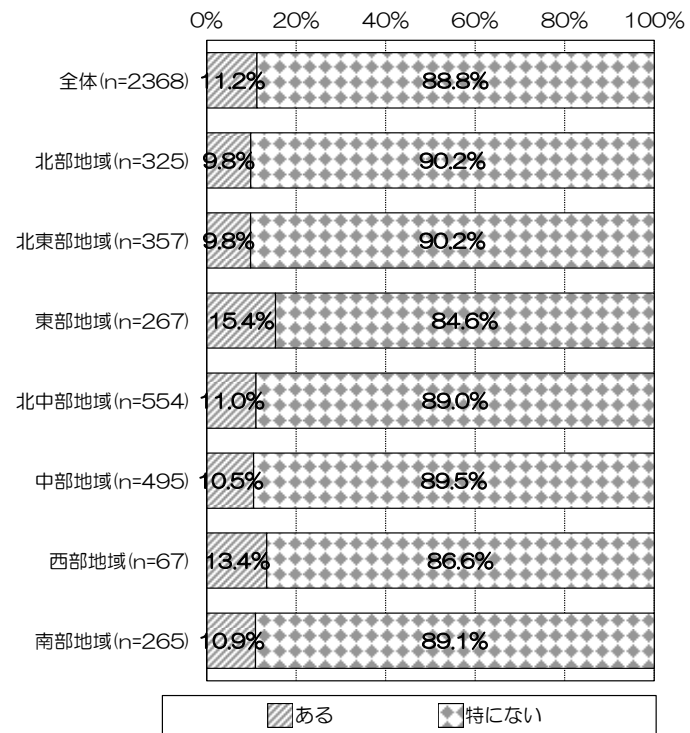
【市内の公共交通が不便なことによる買い物における主な具体的制約】

バスの便数が少ない
バスの路線が分からない
千里中央まで行きづらい
豊中駅に行きにくい
バスを利用して行ける買い物先が限られている
小さな双子(ベビーカー)連れてバスに乗りにくい
傘がさせないので雨の日は外出、買物には行かない
買っても自分で荷物を持って帰るのが出来ない
大きな荷物を持ってバスに乗るなら車で行く
市内間の東西への移動手段が少ない

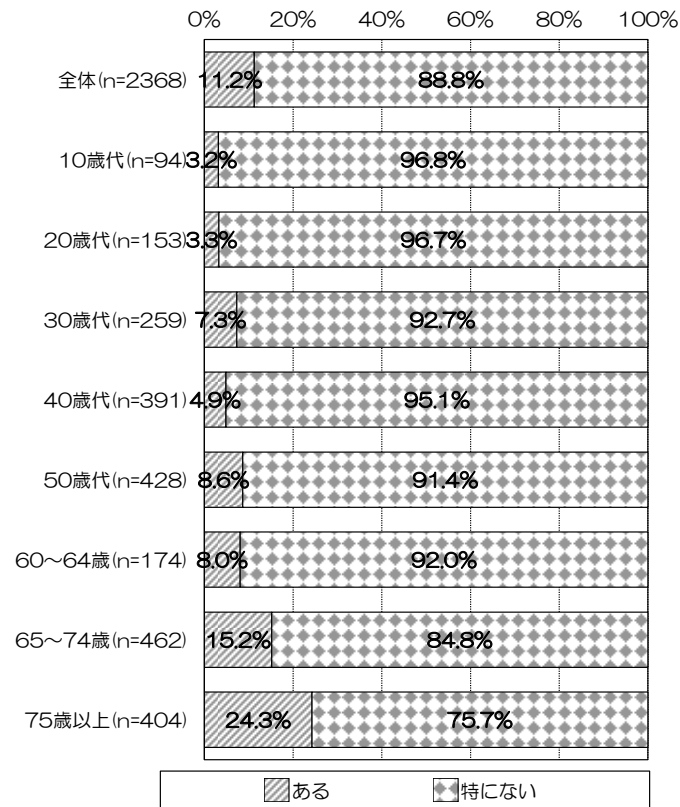
(4) 通院での移動制約

- 通院での移動制約の有無を住まいの地域別で見ると、「ある」の割合は10%前後となっています。東部地域で約15%と最も高く、次いで西部地域が約13%です。
- 通院での移動制約の有無を年齢別で見ると、「ある」の割合は75歳以上で約24%と最も高く、次いで65～74歳が約15%です。

【通院での移動制約の有無（住まいの地域別）】



【通院での移動制約の有無（年齢別）】



【市内の公共交通が不便なことによる通院における主な具体的制約】

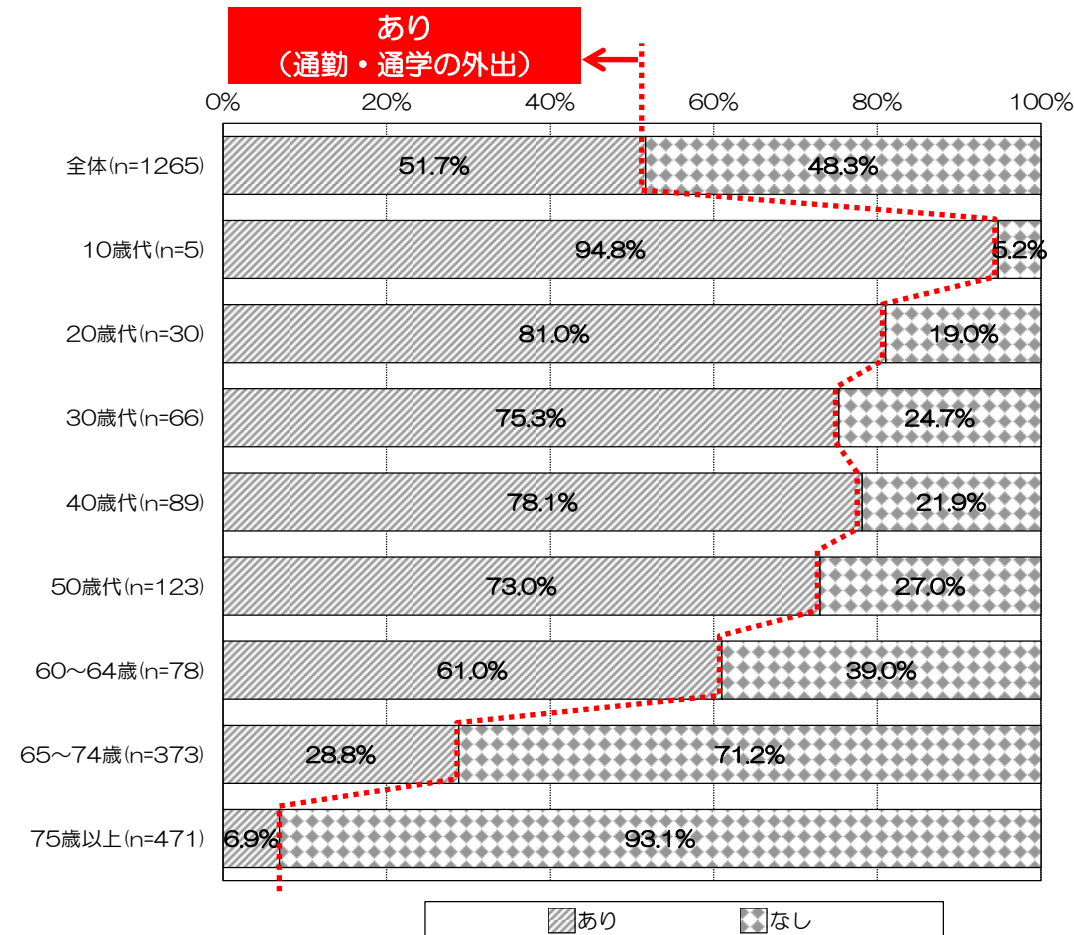
バスの便数が少ない
バスや電車が利用しにくいいためタクシーを利用することが多い
本数が少ないため予約時間もバスの時刻に合わせている
バスの路線が分からない
タクシーが見つからない場合がある
バスや電車が利用しにくいいためタクシーを利用することが多い
運賃が高い
市立豊中病院まで乗り換えが多くて大変
市立豊中病院までバスで行くのが不便
市立豊中病院までの路線が廃止になったので不便

4.7 日常の外出（通勤・通学の移動）について

(1) 通勤・通学の外出状況

- 通勤・通学の外出状況を年齢別で見ると、「あり」の割合は10歳代で最も高くなっており、10歳代から50歳代で70%以上となっています。

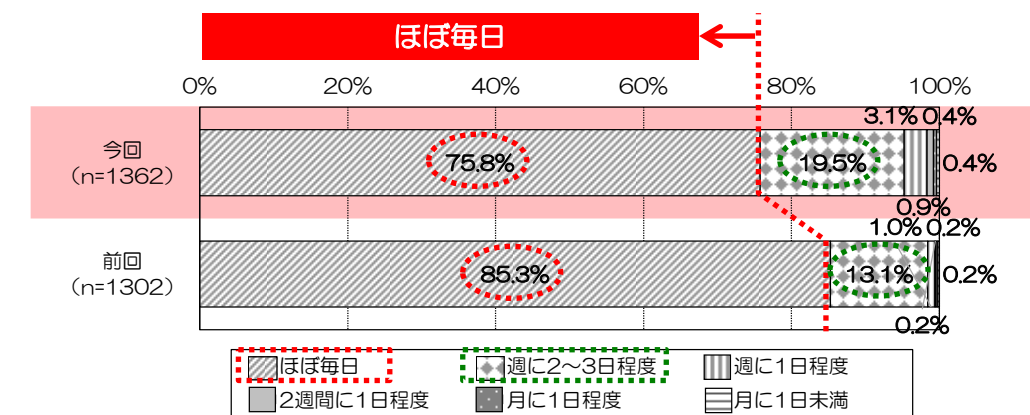
【通勤・通学の外出状況（年齢別）】



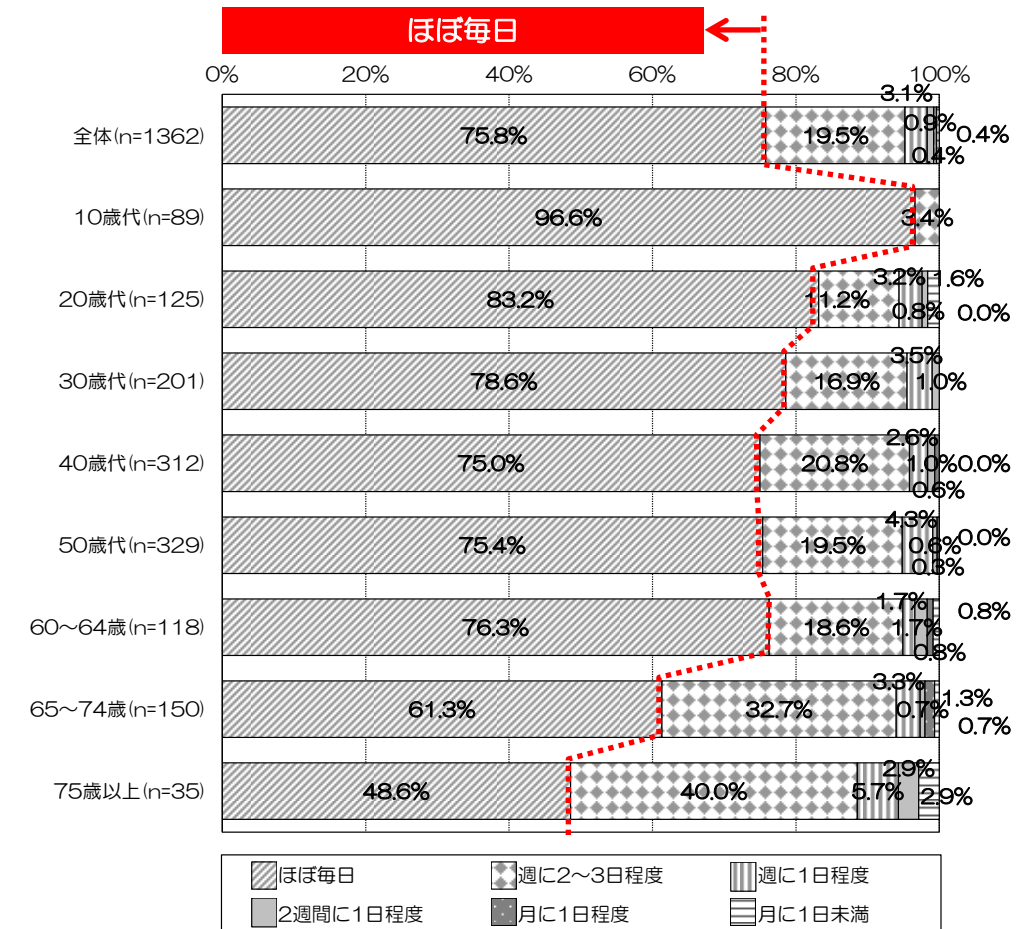
(2) 通勤・通学の外出頻度

- 通勤・通学の外出頻度は、「ほぼ毎日」の割合が約76%と最も高く、次いで「週に2~3日程度」が約20%です。
- 前回調査時と比べて、「ほぼ毎日」の割合が約10%減少し、「週に2~3日程度」が約6%増加しています。
- 通勤・通学の外出頻度を年齢別で見ると、「ほぼ毎日」の割合は10歳代で最も高く、年代が上がるにつれて、「週に2~3日程度」が増加しています。

【通勤・通学の外出頻度】



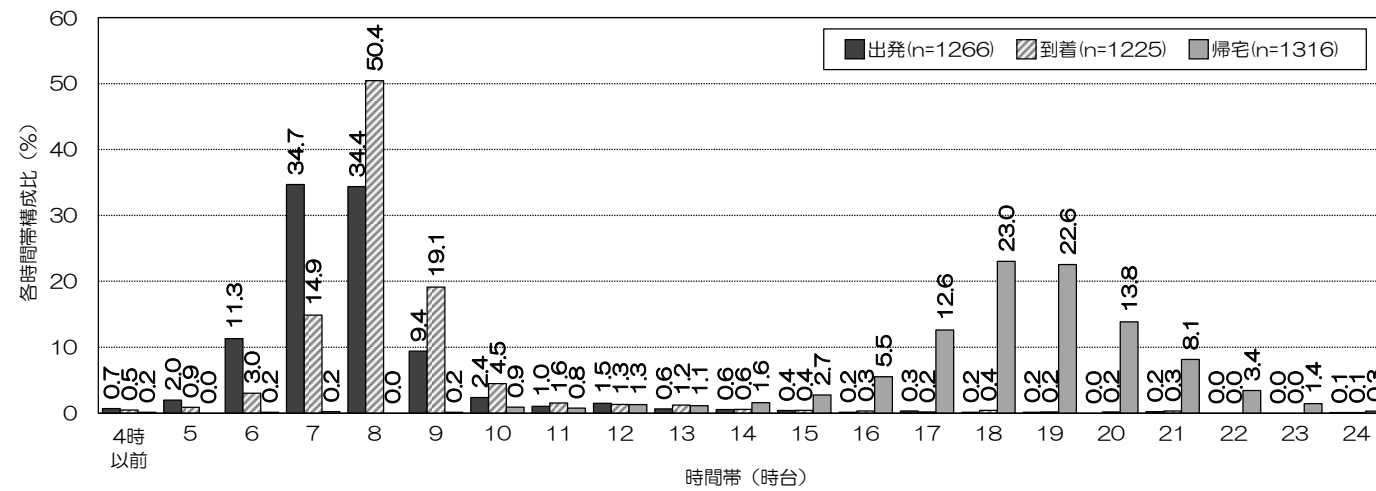
【通勤・通学の外出頻度（年齢別）】



(3) 通勤・通学の出発・到着・帰宅時間

- 通勤・通学の出発・到着・帰宅時間を見ると、「出発」の割合は7時台が約35%と最も高く、次いで8時台が約34%と朝の時間帯に集中しています。
- 「到着」は、8時台が約50%と最も高く、次いで9時台が約19%です。
- 「帰宅」は、18時台及び19時台がともに約23%と最も高く、次いで20時台が約14%、17時台が約13%です。

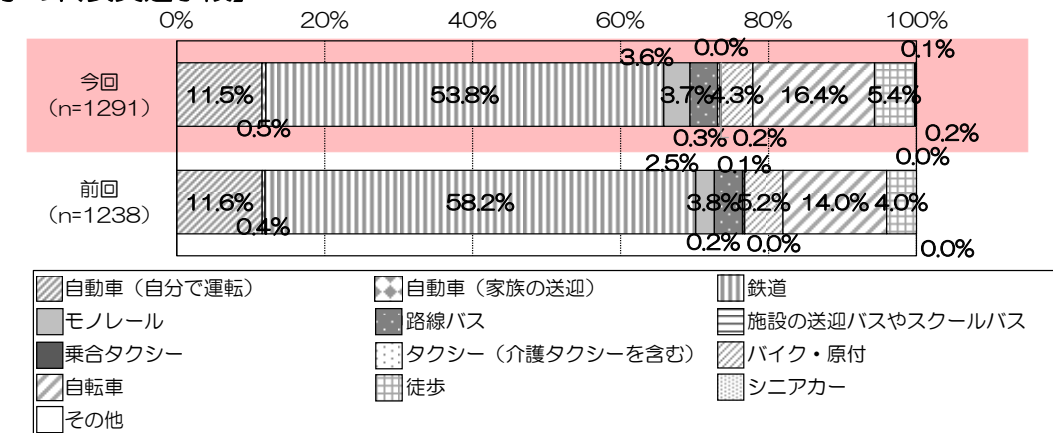
【通勤・通学の出発・到着・帰宅時間】



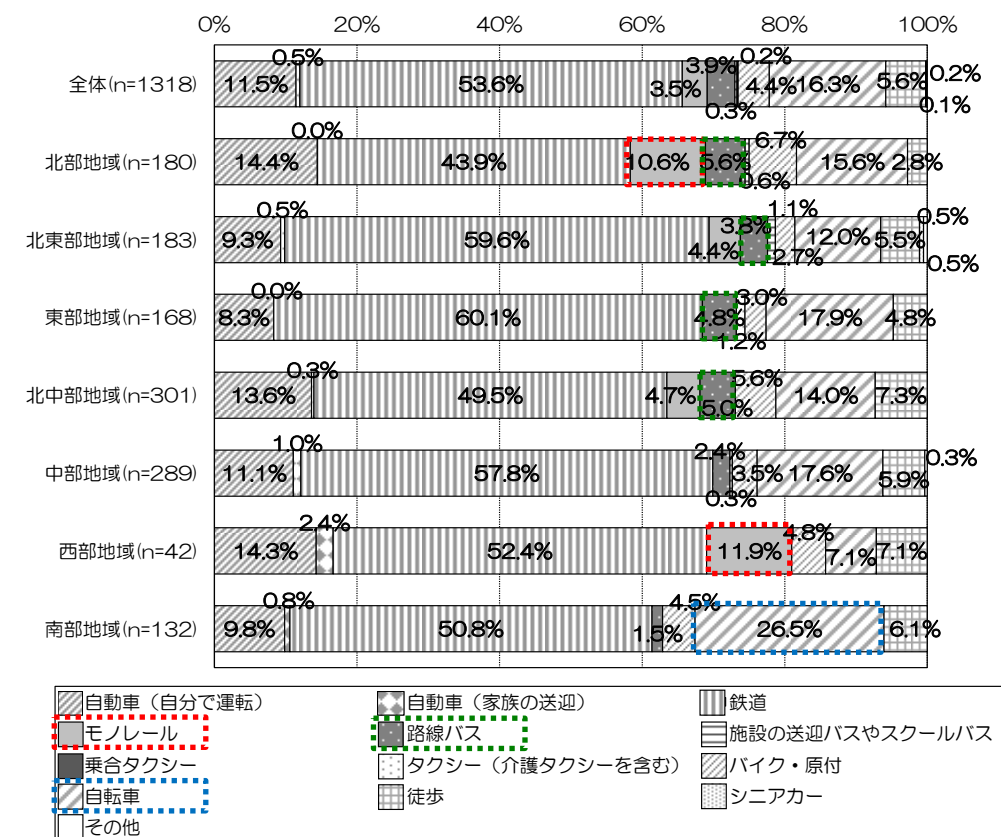
(4) 通勤・通学の移動手段 (代表交通手段)

- 通勤・通学の代表交通手段を見ると、「鉄道」の割合が約54%と最も高く、次いで「自転車」が約16%、「自動車 (自分で運転)」が約12%の順です。
- 前回調査時と比較すると、「鉄道」が約4%減少し、「自転車」が約2%、「徒歩」が約1%増加しています。
- 通勤・通学の代表交通手段を住まいの地域別で見ると、「モノレール」は北部地域や西部地域、「路線バス」は北部地域、北東部地域、東部地域、中北部地域、「自転車」は南部地域において、他地域と比べて割合が高くなっています。

【通勤・通学の代表交通手段】



【通勤・通学の代表交通手段 (住まいの地域別)】



(5) 通勤・通学先

- ▶ 通勤・通学先は、全ての地域で大阪市が最も多く、次いで豊中市内、吹田市の順である。また、前回調査時とほぼ同じ傾向です。
- ▶ 通勤・通学の総トリップ数は、前回調査時と比べて、約 1,200 トリップ/日増加しています。

【通勤・通学の外出先とトリップ数】

<今回（令和4年（2022年））>

（単位：トリップ/日）

住まいの地域（出発地）	外出先（目的地）																			特定 できず	合計
	豊中市内								豊中市外												
	北部地域	北東部地域	東部地域	中北部地域	中部地域	西部地域	南部地域	豊中市内（不詳）	大阪市	吹田市	箕面市	池田市	茨木市	その他大阪府内	兵庫県伊丹市	兵庫県尼崎市	その他兵庫県内	その他			
北部地域	1,172	731	236	587	968	441	204	2,291	6,383	2,088	1,614	1,015	549	1,704	31	29	1,715	466	356	22,580	
北東部地域	129	2,103	506	62	425	97		853	8,646	3,024	1,758	459	1,266	3,101	0	416	851	862	484	25,042	
東部地域	536	999	367	611	942	98	409	1,733	8,761	4,960	687	89	551	856	243	50	495	298	211	22,896	
中北部地域	1,877	1,498	736	1,926	1,674	663	698	3,554	11,365	2,075	1,291	2,308	1,333	2,225	475	870	4,001	398	397	39,364	
中部地域	193	96	754	1,313	4,285	2,076	871	2,513	14,033	1,819	471	1,184	289	1,930	378	605	3,260	957	851	37,878	
西部地域	140	0	0	646	123	97	89	661	2,125	31	332	253	0	113	204	430	128	200	331	5,903	
南部地域	298	0	189	236	812	381	3,342	1,145	6,218	1,287	0	487	200	877	258	705	1,973	504	478	19,390	
合計	4,345	5,427	2,788	5,381	9,229	3,853	5,613	12,750	57,531	15,284	6,153	5,795	4,188	10,806	1,589	3,105	12,423	3,685	3,108	173,053	

<前回（平成26年（2014年））>

（単位：トリップ/日）

住まいの地域（出発地）	外出先（目的地）																			特定 できず	合計
	豊中市内								豊中市外												
	北部地域	北東部地域	東部地域	中北部地域	中部地域	西部地域	南部地域	豊中市内（不詳）	大阪市	吹田市	箕面市	池田市	茨木市	その他大阪府内	兵庫県伊丹市	兵庫県尼崎市	その他兵庫県内	その他			
北部地域	1,015	1,179	275	1,751	844	364	457	1,228	7,914	1,157	430	1,035	1,359	1,753	146	421	1,064	773	0	23,165	
北東部地域	146	1,444	391	204	95	0	132	446	10,797	2,615	1,187	24	651	1,853	261	289	847	1,069	358	22,809	
東部地域	0	440	48	312	1,332	0	803	1,140	6,750	1,224	446	234	373	1,115	289	191	1,378	1,256	62	17,393	
中北部地域	643	1,557	320	2,855	1,782	430	453	3,125	18,794	3,404	1,284	777	606	3,455	337	426	1,936	2,415	589	45,188	
中部地域	475	72	26	636	3,134	1,009	1,782	2,438	14,785	2,174	1,129	378	550	2,466	720	440	2,151	1,271	785	36,421	
西部地域	557	0	0	1,002	22	310	0	828	2,094	234	191	269	0	137	424	282	508	149	52	7,059	
南部地域	0	146	0	178	899	657	2,902	987	8,953	964	146	893	193	454	201	429	666	612	513	19,793	
合計	2,836	4,838	1,060	6,938	8,108	2,770	6,529	10,192	70,087	11,772	4,813	3,610	3,732	11,233	2,378	2,478	8,550	7,545	2,359	171,828	

<増減状況>

（単位：トリップ/日）

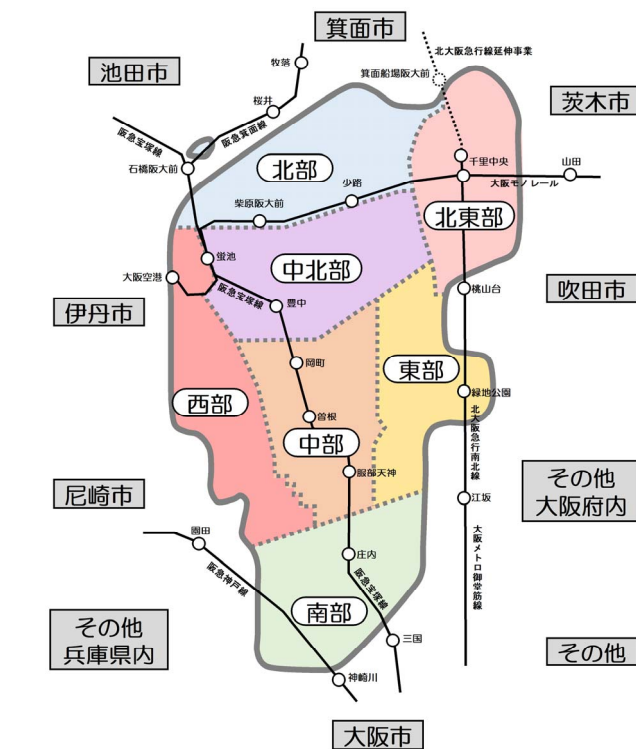
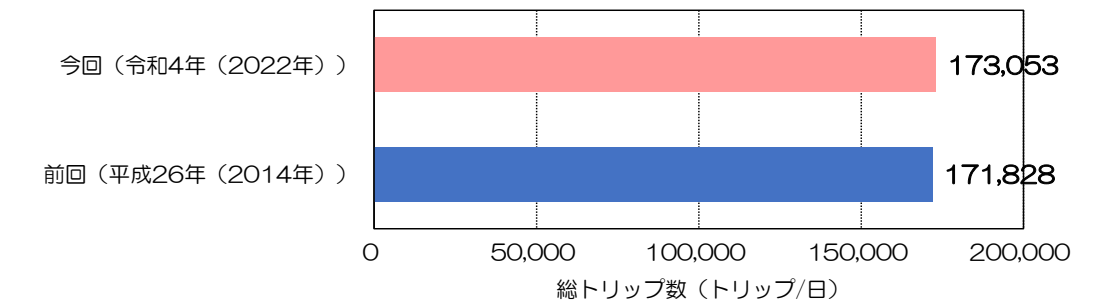
住まいの地域（出発地）	外出先（目的地）																			特定 できず	合計
	豊中市内								豊中市外												
	北部地域	北東部地域	東部地域	中北部地域	中部地域	西部地域	南部地域	豊中市内（不詳）	大阪市	吹田市	箕面市	池田市	茨木市	その他大阪府内	兵庫県伊丹市	兵庫県尼崎市	その他兵庫県内	その他			
北部地域	157	-448	-39	-1,164	124	77	-253	1,063	-1,531	931	1,184	-20	-810	-49	-115	-392	651	-307	356	-585	
北東部地域	-17	659	115	-142	330	97	-132	407	-2,151	409	571	435	615	1,248	-261	127	4	-207	126	2,233	
東部地域	536	559	319	299	-390	98	-394	593	2,011	3,736	241	-145	178	-259	-46	-141	-883	-958	149	5,503	
中北部地域	1,234	-59	416	-929	-108	233	245	429	-7,429	-1,329	7	1,531	727	-1,230	138	444	2,065	-2,017	-192	-5,824	
中部地域	-282	24	728	677	1,151	1,067	-911	75	-752	-355	-658	806	-261	-536	-342	165	1,109	-314	66	1,457	
西部地域	-417	0	0	-356	101	-213	89	-167	31	-203	141	-16	0	-24	-220	148	-380	51	279	-1,156	
南部地域	298	-146	189	58	-87	-276	440	158	-2,735	323	-146	-406	7	423	57	276	1,307	-108	-35	-403	
合計	1,509	589	1,728	-1,557	1,121	1,083	-916	2,558	-12,556	3,512	1,340	2,185	456	-427	-789	627	3,873	-3,860	749	1,225	

※ トリップ数は、アンケート結果に拡大係数を乗じた値としている。

※ 拡大係数は、10歳代（15～19歳）、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60～64歳、65～74歳、75歳以上の年齢層別に、平成26年10月1日現在の豊中市人口統計÷アンケートのサンプル数としている。

※ 各サンプルの外出頻度について、ほぼ毎日を1回/日、週に2～3日程度を7分の2.5回/日、週1日程度を7分の1回/日、2週間に1日程度を14分の1回/日、月に1日程度を30分の1回/日、月に1日未満を60分の1回/日として、トリップ数の算出に反映している。

【通勤・通学の総トリップ数の推移】



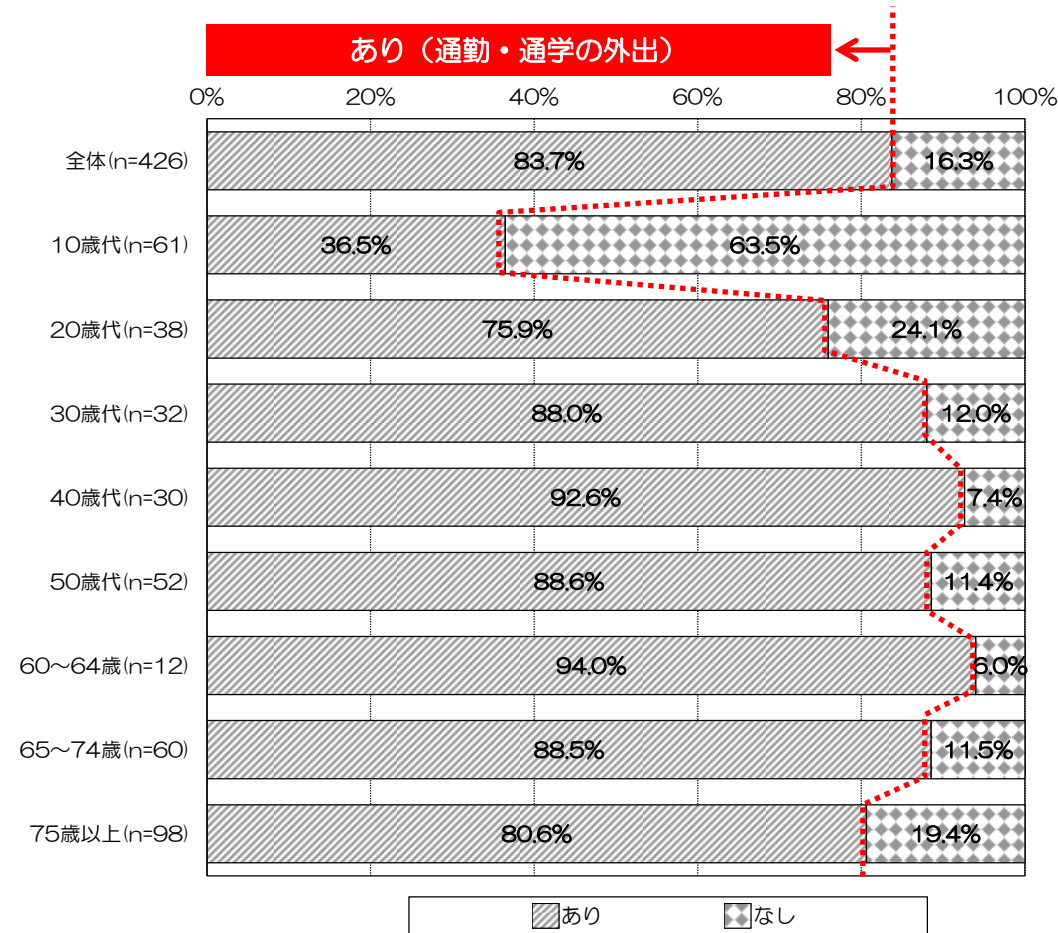
- ：上位1位から5位までのトリップ数を示す。
- ：上位6位から10位までのトリップ数を示す。
- ：下位10位から6位までのトリップ数を示す。
- ：下位5位から1位までのトリップ数を示す。

4.8 日常の外出（買い物の移動）について

(1) 最もよく行く買い物先への外出状況

- 買い物の外出状況を年齢別で見ると、「あり」の割合は30歳代から75歳以上にかけて80%以上となっています。

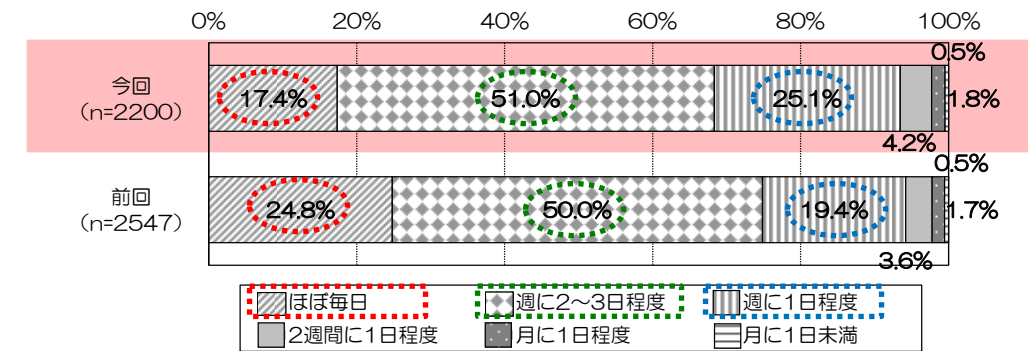
【買い物の外出状況（年齢別）】



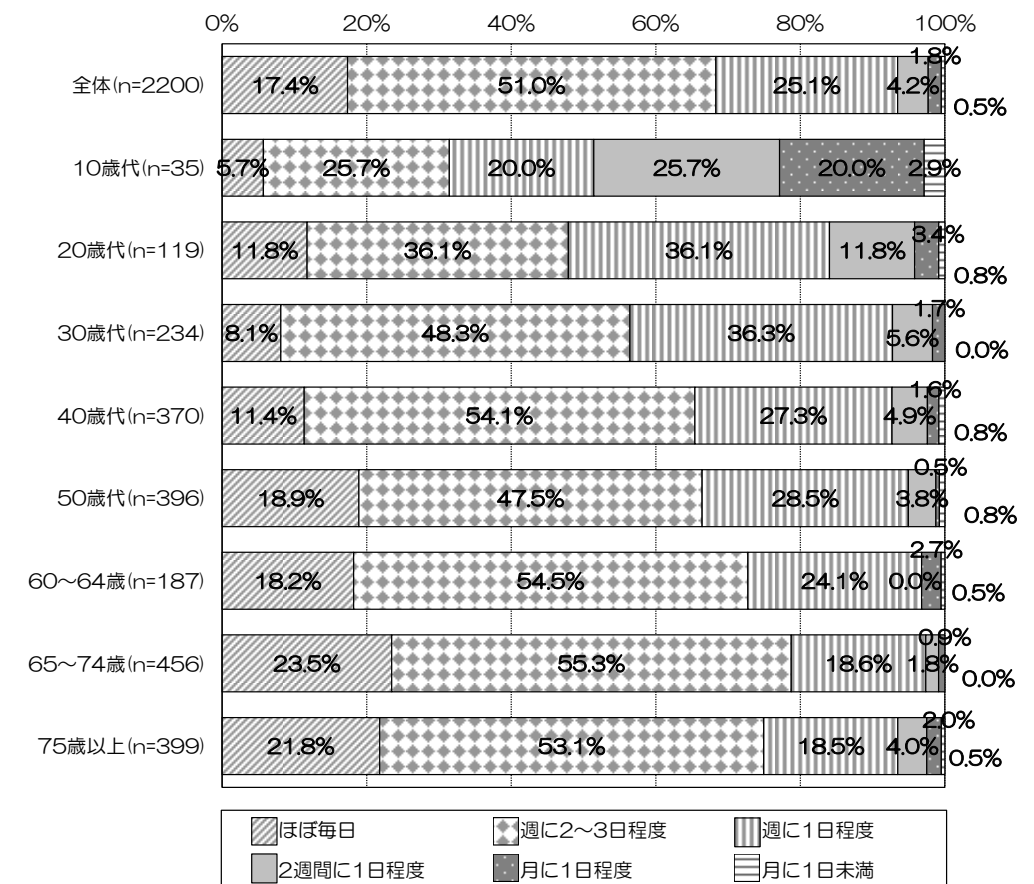
(2) 最もよく行く買い物先への外出頻度

- 買い物の外出頻度は、「週に2~3日程度」の割合が約51%と最も高く、次いで「週に1日程度」が約25%です。
- 前回調査時と比べて、「ほぼ毎日」の割合が約7%減少し、「週に1日程度」が約6%増加しています。
- 買い物の外出頻度を年齢別で見ると、年代が上がるにつれて、「ほぼ毎日」の割合が増加し、「週に1日程度」が減少しています。

【買い物の外出頻度】



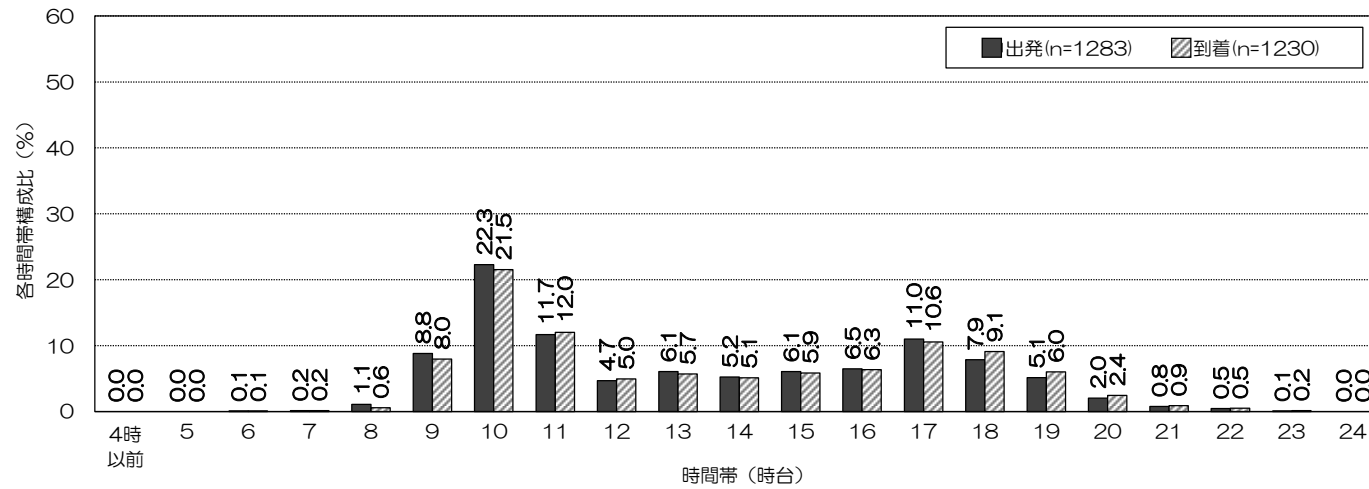
【買い物の外出頻度（年齢別）】



(3) 最もよく行く買い物先への出発・到着時間

- 買い物先への出発・到着時間を見ると、「出発」の割合は10時台が約22%と最も高く、次いで11時台及び17時台がともに約11%です。
- 「到着」は、10時台が約22%と最も高く、次いで11時台が約12%です。

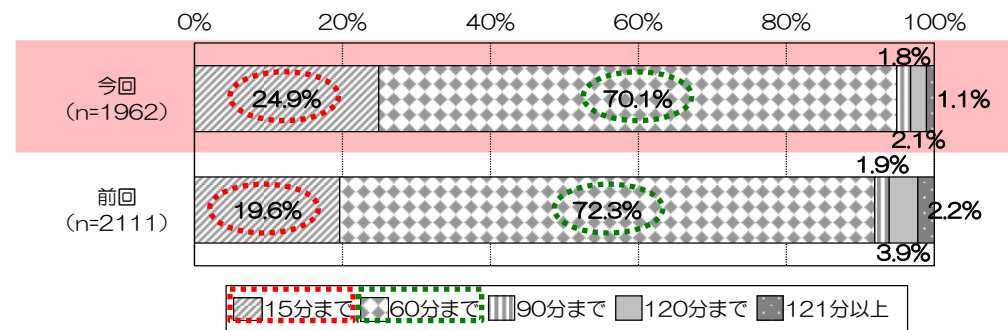
【買い物先への出発・到着時間】



(4) 最もよく行く買い物先での滞在時間

- 買い物先での滞在時間の割合は、「60分まで」が約70%と最も高く、次いで「15分まで」が約25%です。
- 前回調査時と比較すると、「60分まで」の割合が約2%減少し、「15分まで」が約5%増加しています。

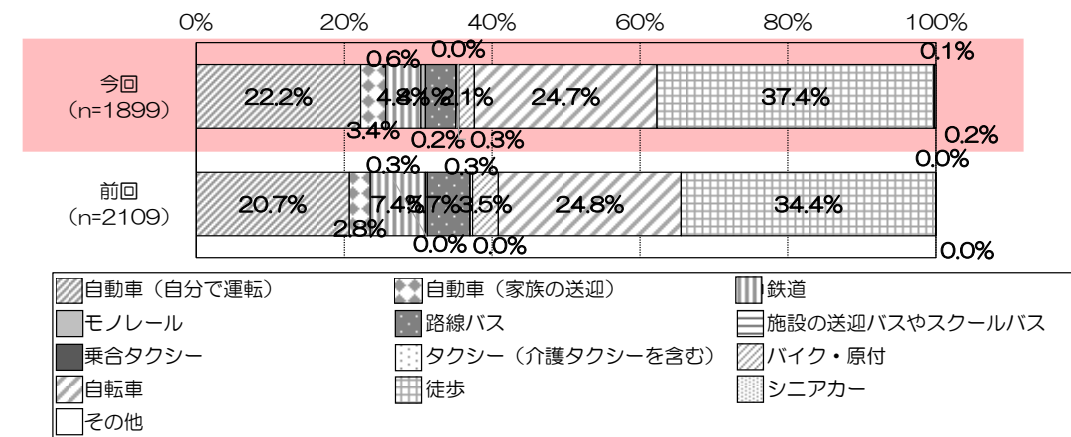
【買い物先での滞在時間】



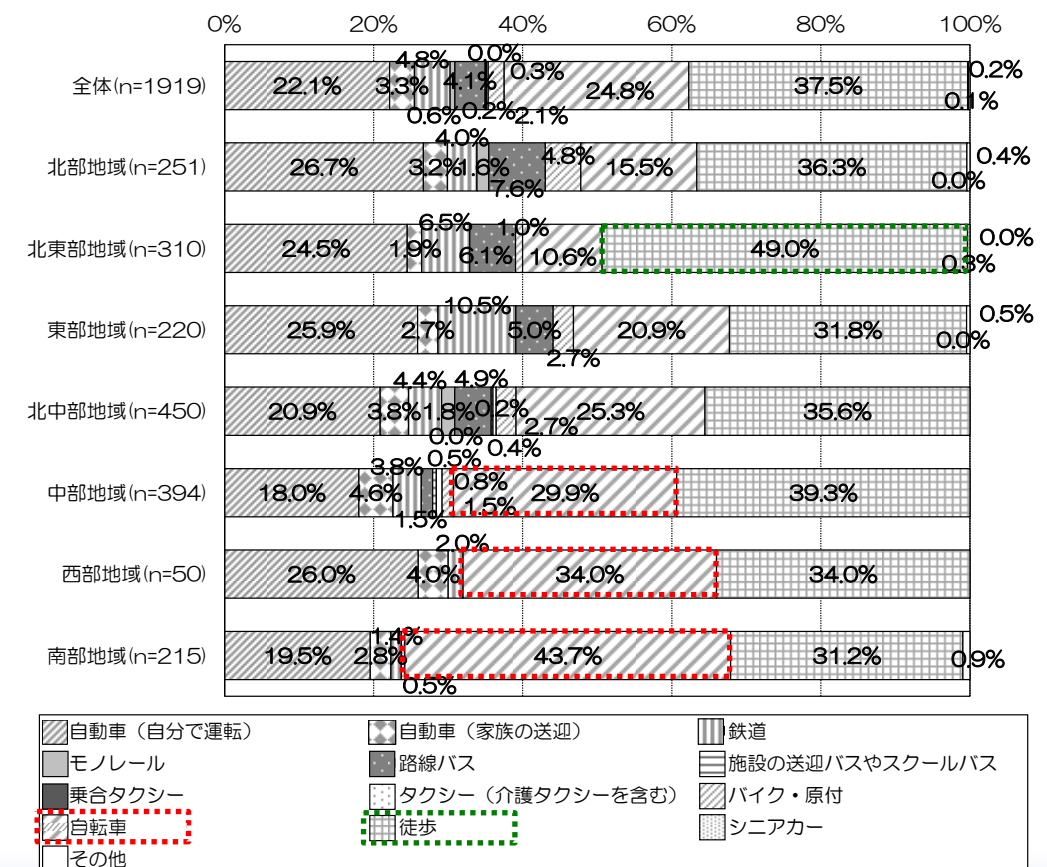
(5) 最もよく行く買い物先への移動手段 (代表交通手段)

- 買い物先への代表交通手段を見ると、「徒歩」の割合が約37%と最も高く、次いで「自転車」が約25%、「自動車 (自分で運転)」が約22%の順です。
- 前回調査時と比較すると、「鉄道」が約3%、「路線バス」が約2%減少し、「徒歩」が約3%、「自転車 (自分で運転)」が約2%増加しています。
- 買い物先への代表交通手段を住まいの地域別で見ると、「自転車」は中部地域、西部地域、南部地域、「徒歩」は北東部地域において、他地域と比べて割合が高くなっています。

【買い物先への代表交通手段】



【買い物先への代表交通手段 (住まいの地域別)】



(6) 最もよく行く買い物先

- 買い物先は、全ての地域において地域内が最も多くなっています。また、前回調査時とほぼ同じ傾向です。
- 買い物の総トリップ数は、前回調査時と比べて、新型コロナウイルス感染症拡大以降も外出頻度が低下しており、約60,600トリップ/日減少しています。

【買い物の外出先とトリップ数】

<今回（令和4年（2022年））>

（単位：トリップ/日）

住まいの地域（出発地）	外出先（目的地）																	合計
	豊中市内							豊中市外									特定 できず	
	北部地域	北東部地域	東部地域	中北部地域	中部地域	西部地域	南部地域	大阪市	吹田市	箕面市	池田市	その他 大阪府内	兵庫県 伊丹市	兵庫県 尼崎市	その他 兵庫県内	その他		
北部地域	7,689	1,046	74	1,078	68	88	97	154	188	874	541	21	0	0	0	0	415	12,333
北東部地域	217	12,431	10	527	21	0	89	57	2,144	535	97	244	0	0	31	0	366	16,769
東部地域	31	466	5,092	1,428	1,913	0	883	107	1,482	121	0	0	29	0	0	0	514	12,066
中北部地域	717	780	281	17,248	2,337	1,639	483	182	254	136	72	113	38	38	12	34	1,032	25,396
中部地域	0	2	287	541	18,102	86	1,504	74	55	6	0	0	282	83	0	0	739	21,761
西部地域	0	0	0	280	90	1,116	80	151	0	19	88	0	130	576	50	0	59	2,639
南部地域	0	0	74	469	21	0	12,342	661	71	0	0	0	54	34	0	0	761	14,487
合計	8,654	14,725	5,818	21,571	22,552	2,929	15,478	1,386	4,194	1,691	798	378	533	731	93	34	3,886	105,451

<前回（平成26年（2014年））>

（単位：トリップ/日）

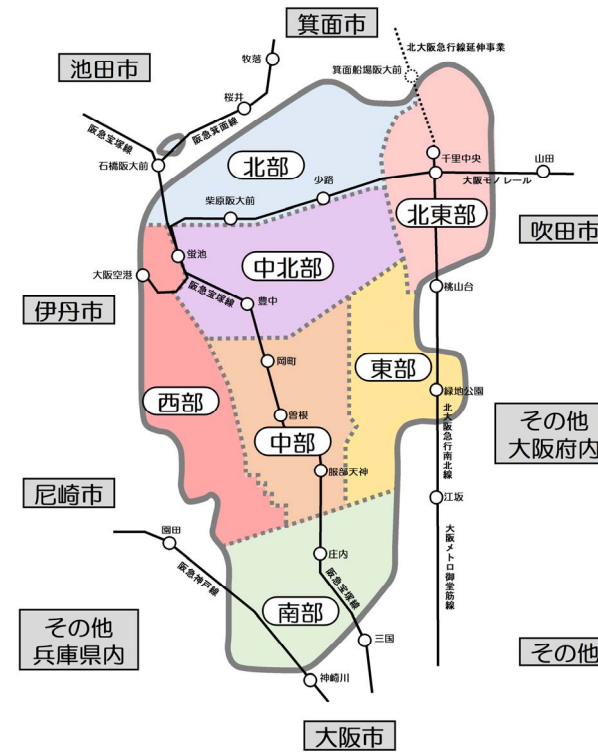
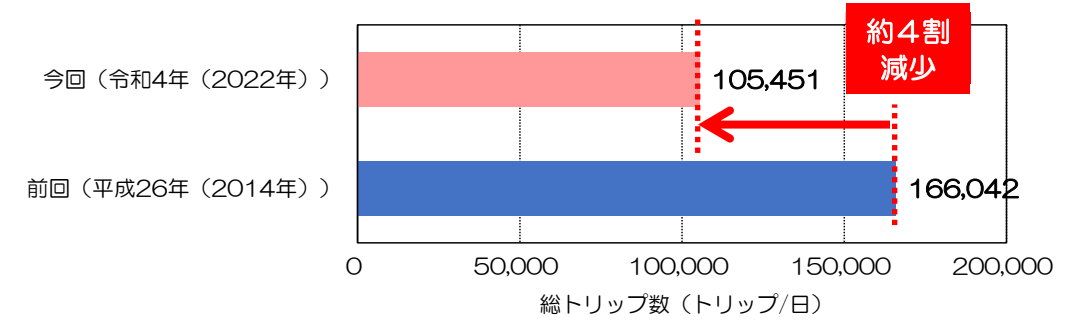
住まいの地域（出発地）	外出先（目的地）																	合計
	豊中市内							豊中市外									特定 できず	
	北部地域	北東部地域	東部地域	中北部地域	中部地域	西部地域	南部地域	大阪市	吹田市	箕面市	池田市	その他 大阪府内	兵庫県 伊丹市	兵庫県 尼崎市	その他 兵庫県内	その他		
北部地域	9,000	1,512	151	1,432	53	104	388	22	24	1,675	520	0	28	0	0	0	6,374	21,283
北東部地域	378	10,032	116	1,589	9	0	728	114	2,169	183	0	0	22	0	0	0	10,372	25,712
東部地域	92	220	5,207	205	1,117	137	292	181	599	38	0	0	194	10	0	0	3,345	11,637
中北部地域	1,137	533	345	13,181	2,087	2,141	568	330	1,189	350	221	0	550	27	73	0	17,930	40,662
中部地域	20	36	439	533	16,080	0	660	605	62	75	14	0	348	20	39	0	13,958	32,889
西部地域	0	0	0	351	771	1,703	165	22	0	22	161	0	135	1,164	0	0	3,294	7,788
南部地域	0	0	279	70	111	146	13,216	929	218	0	0	20	36	134	20	0	10,892	26,071
合計	10,627	12,333	6,537	17,361	20,228	4,231	16,017	2,203	4,261	2,343	916	20	1,313	1,355	132	0	66,165	166,042

<増減状況>

（単位：トリップ/日）

住まいの地域（出発地）	外出先（目的地）																	合計
	豊中市内							豊中市外									特定 できず	
	北部地域	北東部地域	東部地域	中北部地域	中部地域	西部地域	南部地域	大阪市	吹田市	箕面市	池田市	その他 大阪府内	兵庫県 伊丹市	兵庫県 尼崎市	その他 兵庫県内	その他		
北部地域	-1,311	-466	-77	-354	15	-16	-291	132	164	-801	21	21	-28	0	0	0	-5,959	-8,950
北東部地域	-161	2,399	-106	-1,062	12	0	-639	-57	-25	352	97	244	-22	0	31	0	-10,006	-8,943
東部地域	-61	246	-115	1,223	796	-137	591	-74	883	83	0	0	-165	-10	0	0	-2,831	429
中北部地域	-420	247	-64	4,067	250	-502	-85	-148	-935	-214	-149	113	-512	11	-61	34	-16,898	-15,266
中部地域	-20	-34	-152	8	2,022	86	844	-531	-7	-69	-14	0	-66	63	-39	0	-13,219	-11,128
西部地域	0	0	0	-71	-681	-587	-85	129	0	-3	-73	0	-5	-588	50	0	-3,235	-5,149
南部地域	0	0	-205	399	-90	-146	-874	-268	-147	0	0	-20	18	-100	-20	0	-10,131	-11,584
合計	-1,973	2,392	-719	4,210	2,324	-1,302	-539	-817	-67	-652	-118	358	-780	-624	-39	34	-62,279	-60,591

【買い物の総トリップ数の推移】



- ：上位1位から5位までのトリップ数を示す。
- ：上位6位から10位までのトリップ数を示す。
- ：下位10位から6位までのトリップ数を示す。
- ：下位5位から1位までのトリップ数を示す。

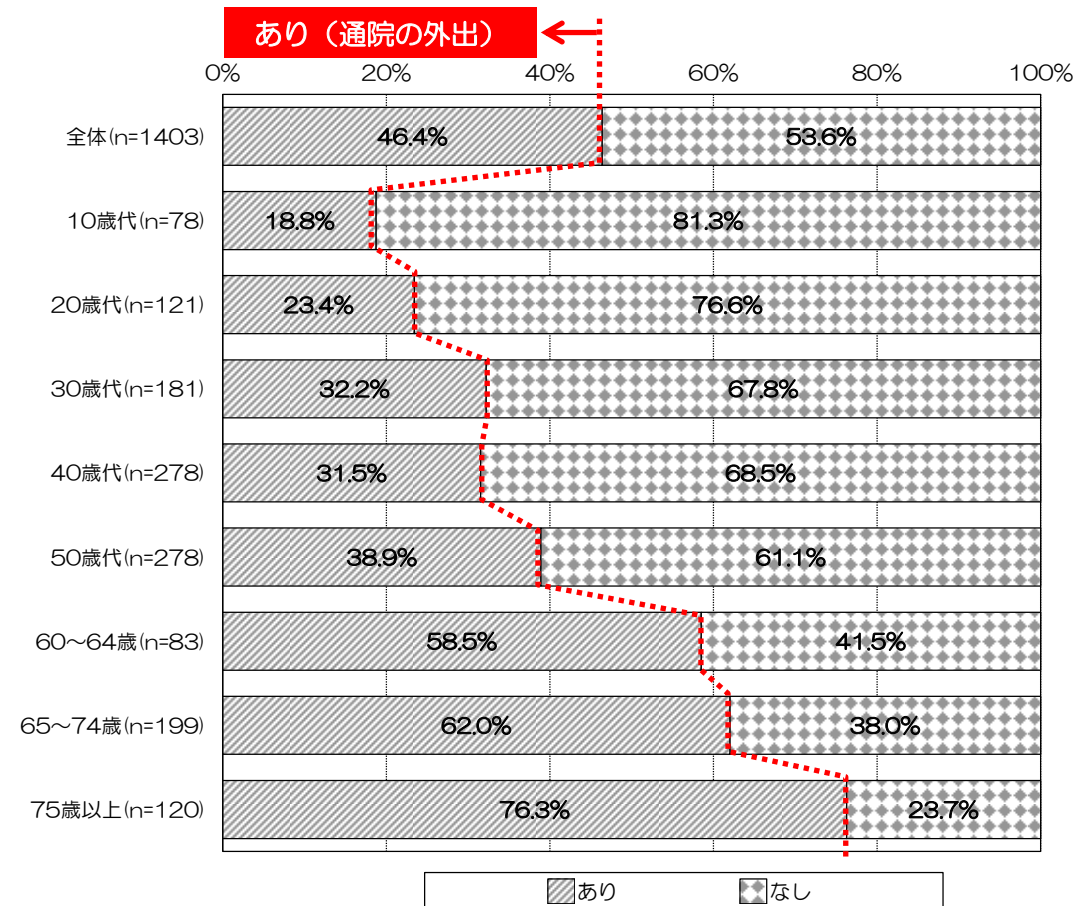
※ トリップ数は、アンケート結果に拡大係数を乗じた値としている。
 ※ 拡大係数は、10歳代（15～19歳）、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60～64歳、65～74歳、75歳以上の年齢層別に、平成26年10月1日現在の豊中市人口統計÷アンケートのサンプル数としている。
 ※ 各サンプルの外出頻度について、ほぼ毎日1回/日、週に2～3日程度を7分の2.5回/日、週1日程度を7分の1回/日、2週間に1日程度を14分の1回/日、月に1日程度を30分の1回/日、月に1日未満を60分の1回/日として、トリップ数の算出に反映している。

4.9 日常の外出（通院の移動）について

(1) 最もよく行く通院先への外出状況

- 通院の外出状況を年齢別で見ると、「あり」の割合は年代が上がるにつれて増加傾向にあり、「75歳以上」では約76%となっています。

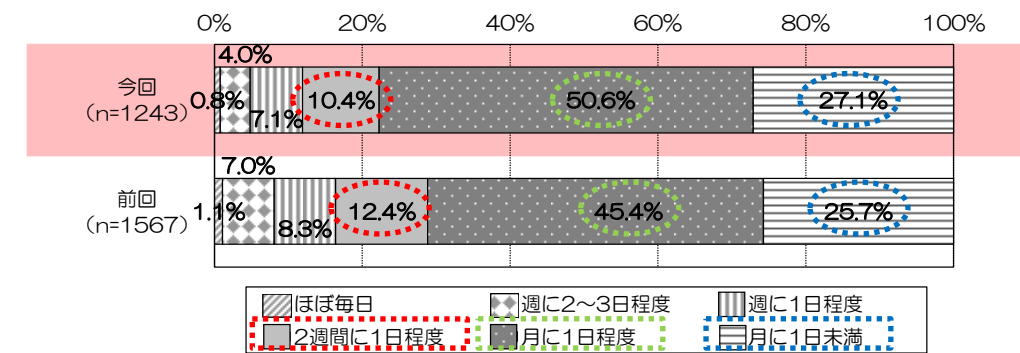
【通院の外出状況（年齢別）】



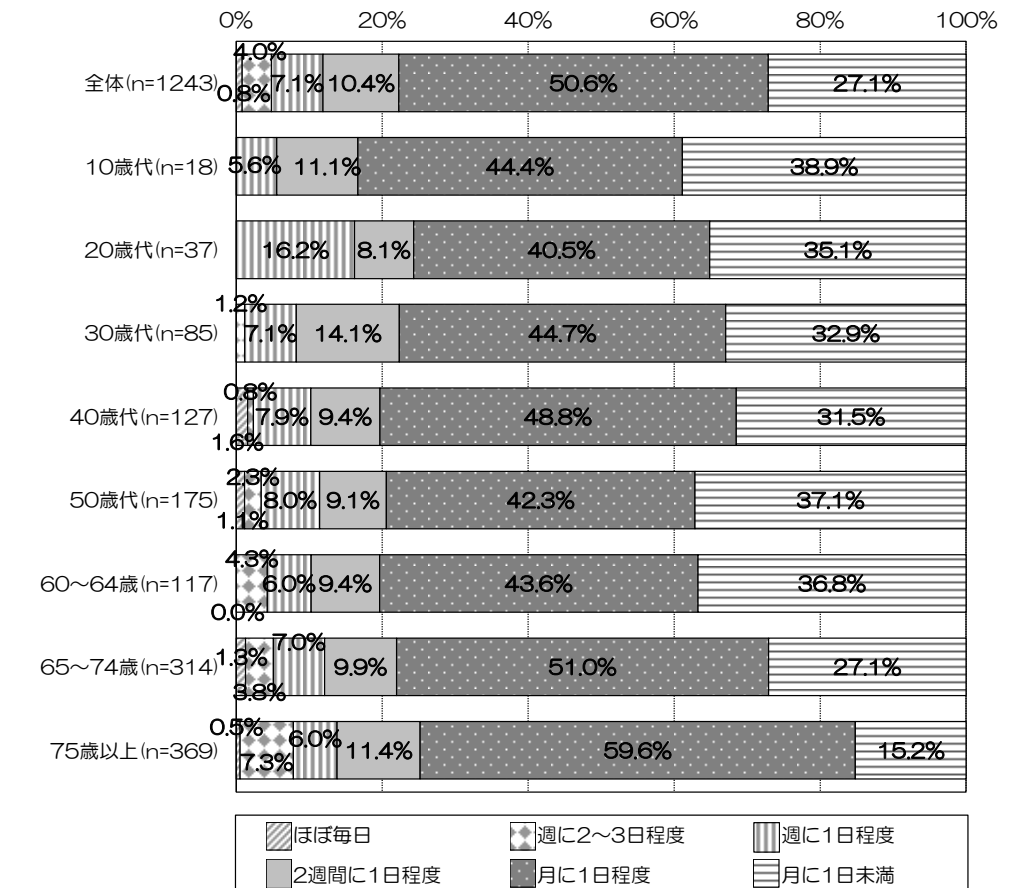
(2) 最もよく行く通院先への外出頻度

- 通院の外出頻度は、「月に1日程度」の割合が約51%と最も高く、次いで「月に1日未満」が約27%です。
- 前回調査時と比べて、「週に2~3日程度」の割合が約3%、「2週間に1日程度」が約2%減少し、「月に1日程度」が約5%増加しています。
- 通院の外出頻度を年齢別で見ると、65~74歳及び75歳以上は、「月に1日未満」の割合が他世代と比べて減少し、「月に1日程度」が増加しています。

【通院の外出頻度】



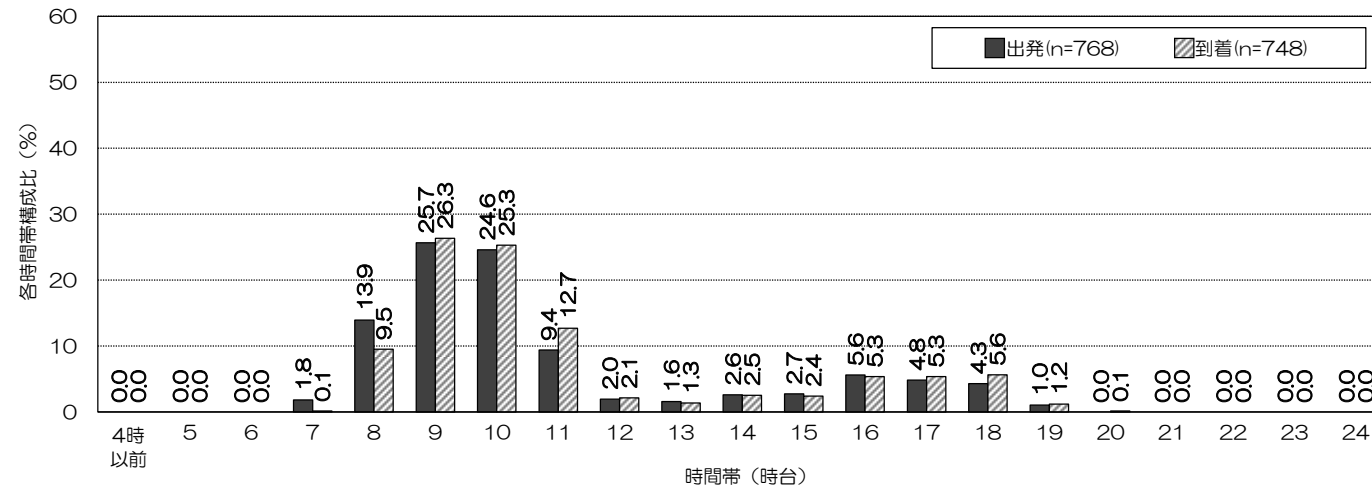
【通院の外出頻度（年齢別）】



(3) 最もよく行く通院先への出発・到着時間

- 通院先への出発・到着時間を見ると、「出発」の割合は9時台が約26%と最も高く、次いで10時台が約25%、8時台が約14%と朝の時間帯にピークが見られます。
- 「到着」は、9時台が約26%と最も高く、次いで10時台が約25%です。

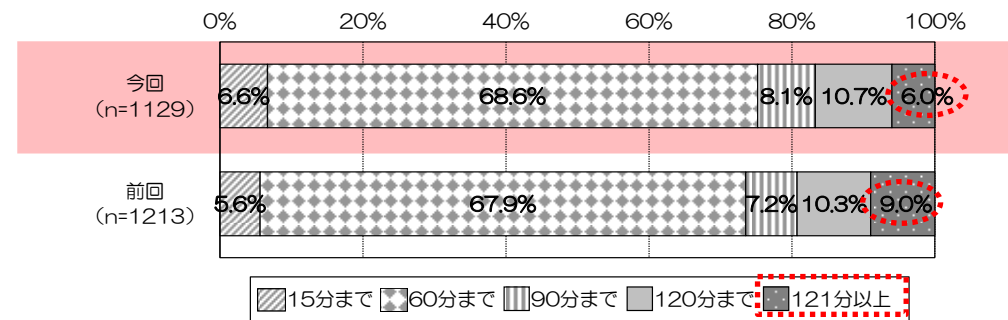
【通院先への出発・到着時間】



(4) 最もよく行く通院先での滞在時間

- 通院先での滞在時間の割合は、「60分まで」が約69%と最も高く、次いで「120分まで」が約11%です。
- 前回調査時と比較すると、「121分以上」の割合が減少しています。

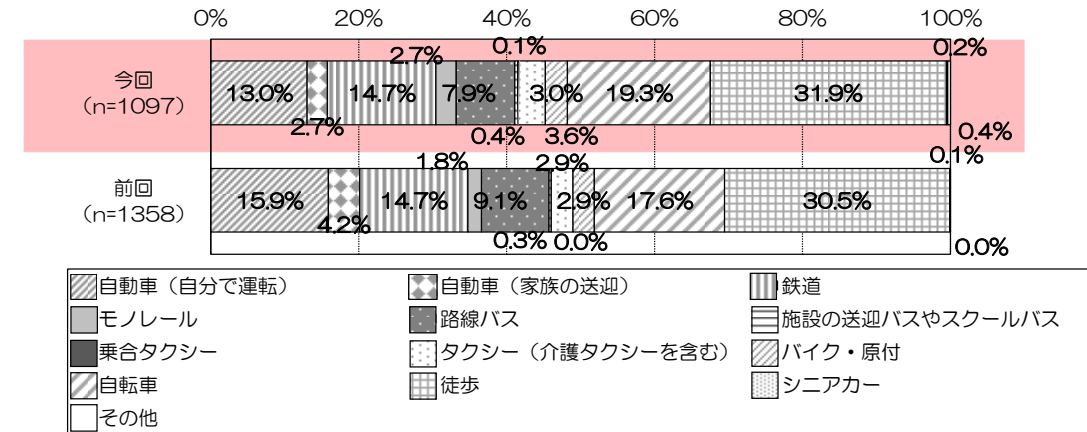
【通院先での滞在時間】



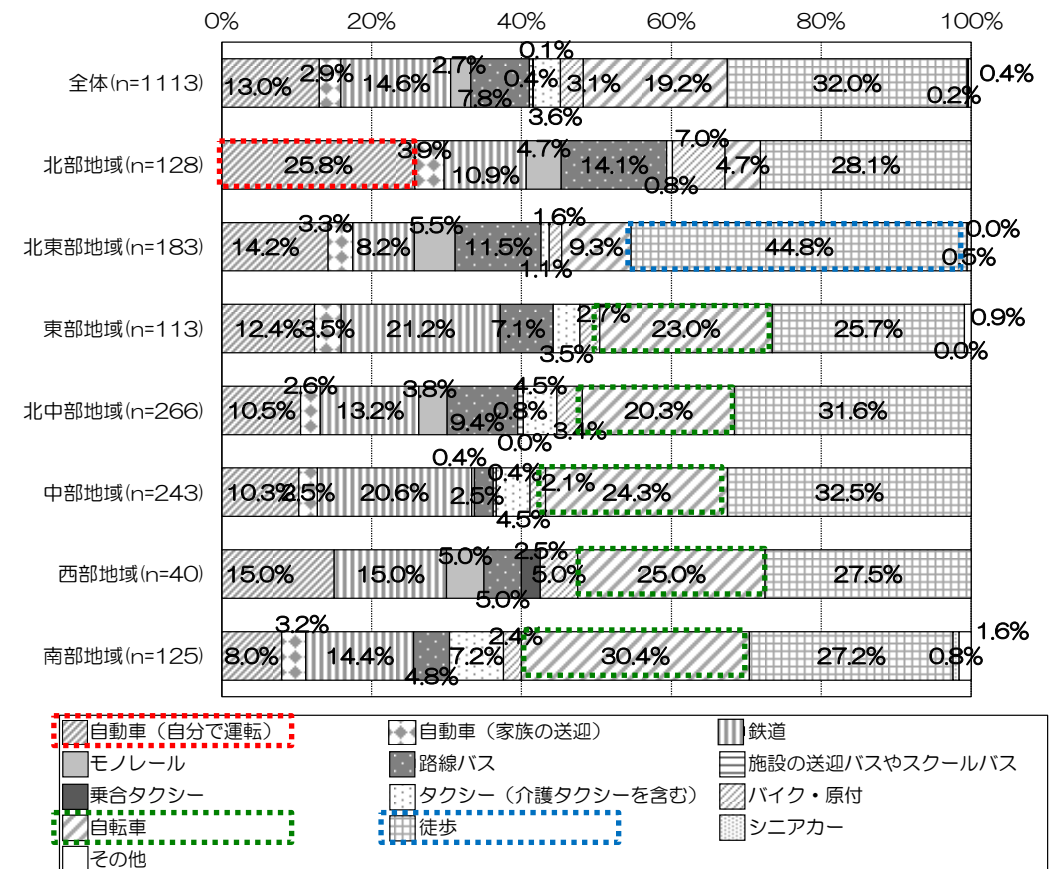
(5) 最もよく行く通院先への移動手段 (代表交通手段)

- 通院先への代表交通手段を見ると、「徒歩」の割合が約32%と最も高く、次いで「自転車」が約19%、「鉄道」が約15%の順です。
- 前回調査時と比較すると、「自動車 (自分で運転)」が約3%減少し、「自転車」が約2%増加しています。
- 通院先への代表交通手段を住まいの地域別で見ると、「自動車 (自分で運転)」は北東部地域、「自転車」は東部地域、中北部地域、中部地域、西部地域、南部地域、「徒歩」は北東部地域において、他地域と比べて割合が高くなっています。

【通院先への代表交通手段】



【通院先への代表交通手段 (住まいの地域別)】



(6) 最もよく行く通院先

- 通院先は、多くの地域において地域内が最も多く、市外へは大阪市や吹田市が多くなっています。また、前回調査時とほぼ同じ傾向です。
- 通院の総トリップ数は、前回調査時と比べて、新型コロナウイルス感染症拡大以降も外出頻度が低下しており、約 3,000 トリップ/日減少しています。

【通院の外出先とトリップ数】

＜今回（令和4年（2022年））＞

住まいの地域（出発地）	外出先（目的地）																合計
	豊中市内							豊中市外							特定 できず		
	北部地域	北東部地域	東部地域	中北部地域	中部地域	西部地域	南部地域	大阪市	吹田市	箕面市	池田市	その他 大阪府内	兵庫県 尼崎市	その他 兵庫県内		その他	
北部地域	207	109	6	136	3	6	10	116	25	8	2	0	0	16	0	67	711
北東部地域	83	496	5	27	9	0	3	45	188	41	0	0	0	5	0	163	1,065
東部地域	190	34	146	58	270	0	77	21	88	3	4	0	0	0	0	92	983
中北部地域	191	216	27	692	434	20	15	128	56	3	5	10	0	57	0	299	2,153
中部地域	70	12	19	98	1,165	0	57	205	94	7	17	1	0	28	0	452	2,225
西部地域	4	0	0	49	24	27	7	26	31	0	6	0	7	3	0	45	229
南部地域	6	0	6	5	48	0	439	72	58	0	0	3	84	0	0	246	967
合計	751	867	209	1,065	1,953	53	608	613	540	62	34	14	91	109	0	1,364	8,333

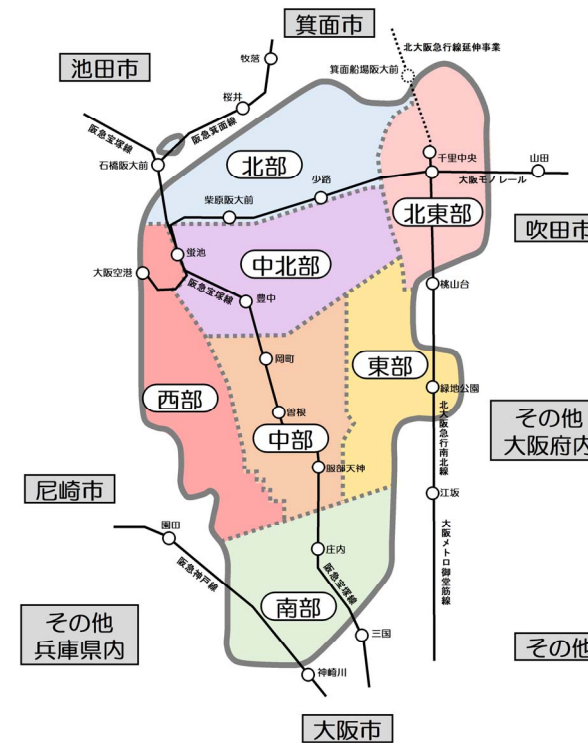
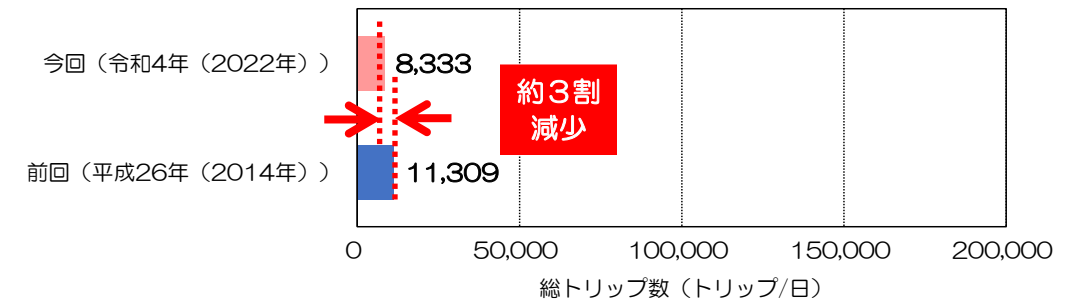
＜前回（平成26年（2014年））＞

住まいの地域（出発地）	外出先（目的地）																合計
	豊中市内							豊中市外							特定 できず		
	北部地域	北東部地域	東部地域	中北部地域	中部地域	西部地域	南部地域	大阪市	吹田市	箕面市	池田市	その他 大阪府内	兵庫県 尼崎市	その他 兵庫県内		その他	
北部地域	532	48	0	72	31	3	29	63	80	46	53	10	1	16	0	421	1,405
北東部地域	84	522	0	56	67	0	0	45	181	17	22	13	0	3	5	632	1,647
東部地域	211	126	40	1,100	309	40	49	124	131	5	14	4	0	31	0	739	2,923
中北部地域	80	13	57	94	1,031	2	5	114	75	4	0	21	1	9	0	763	2,269
中部地域	7	2	0	86	98	76	11	45	4	1	4	0	40	4	0	142	520
西部地域	24	12	219	43	126	2	31	78	13	0	24	2	0	1	0	221	796
南部地域	30	3	0	7	56	0	722	327	52	0	0	2	11	53	0	486	1,749
合計	968	726	316	1,458	1,718	123	847	796	536	73	117	52	53	117	5	3,404	11,309

＜増減状況＞

住まいの地域（出発地）	外出先（目的地）																合計
	豊中市内							豊中市外							特定 できず		
	北部地域	北東部地域	東部地域	中北部地域	中部地域	西部地域	南部地域	大阪市	吹田市	箕面市	池田市	その他 大阪府内	兵庫県 尼崎市	その他 兵庫県内		その他	
北部地域	-325	61	6	64	-28	3	-19	53	-55	-38	-51	-10	-1	0	0	-354	-694
北東部地域	-1	-26	5	-29	-58	0	3	0	7	24	-22	-13	0	2	-5	-469	-582
東部地域	-21	-92	106	-1,042	-39	-40	28	-103	-43	-2	-10	-4	0	-31	0	-647	-1,940
中北部地域	111	203	-30	598	-597	18	10	14	-19	-1	5	-11	-1	48	0	-464	-116
中部地域	63	10	19	12	1,067	-76	46	160	90	6	13	1	-40	24	0	310	1,705
西部地域	-20	-12	-219	6	-102	25	-24	-52	18	0	-18	-2	7	2	0	-176	-567
南部地域	-24	-3	6	-2	-8	0	-283	-255	6	0	0	1	73	-53	0	-240	-782
合計	-217	141	-107	-393	235	-70	-239	-183	4	-11	-83	-38	38	-8	-5	-2,040	-2,976

【通院の総トリップ数の推移】



- ：上位1位から5位までのトリップ数を示す。
- ：上位6位から10位までのトリップ数を示す。
- ：下位10位から6位までのトリップ数を示す。
- ：下位5位から1位までのトリップ数を示す。

※ トリップ数は、アンケート結果に拡大係数を乗じた値としている。

※ 拡大係数は、10歳代（15～19歳）、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60～64歳、65～74歳、75歳以上の年齢層別に、平成26年10月1日現在の豊中市人口統計÷アンケートのサンプル数としている。

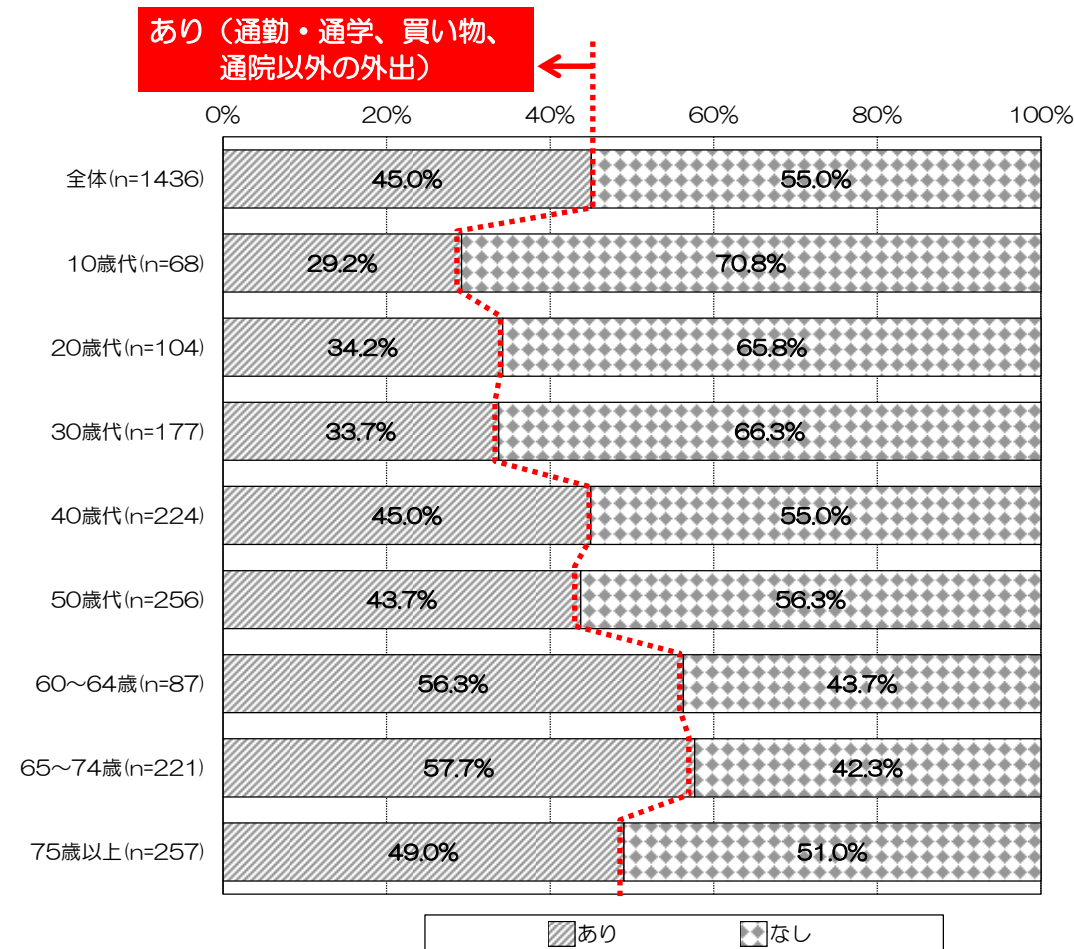
※ 各サンプルの外出頻度について、ほぼ毎日を1回/日、週に2～3日程度を7分の2.5回/日、週1日程度を7分の1回/日、2週間に1日程度を14分の1回/日、月に1日程度を30分の1回/日、月に1日未満を60分の1回/日として、トリップ数の算出に反映している。

4.10 日常の外出（通勤・通学、買い物、通院以外での移動）について

(1) 通勤・通学、買い物、通院以外で最もよく行く外出先への外出状況

- 通勤・通学、買い物、通院以外での外出状況を年齢別で見ると、「あり」の割合は60～64歳及び65～74歳で50%以上となっています。

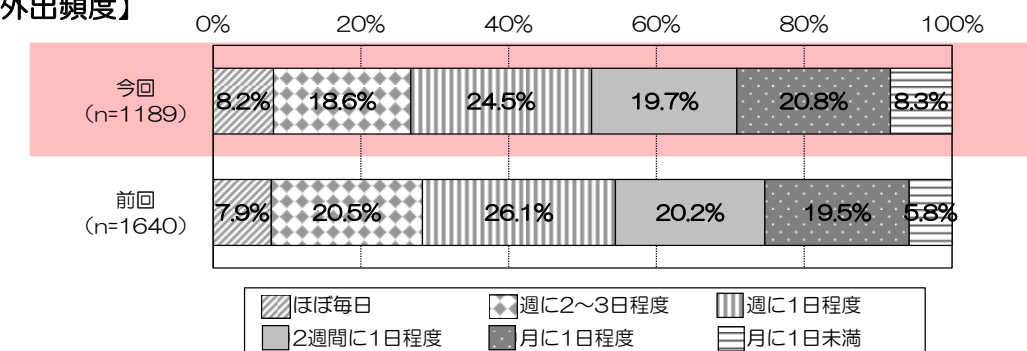
【外出先の外出状況（年齢別）】



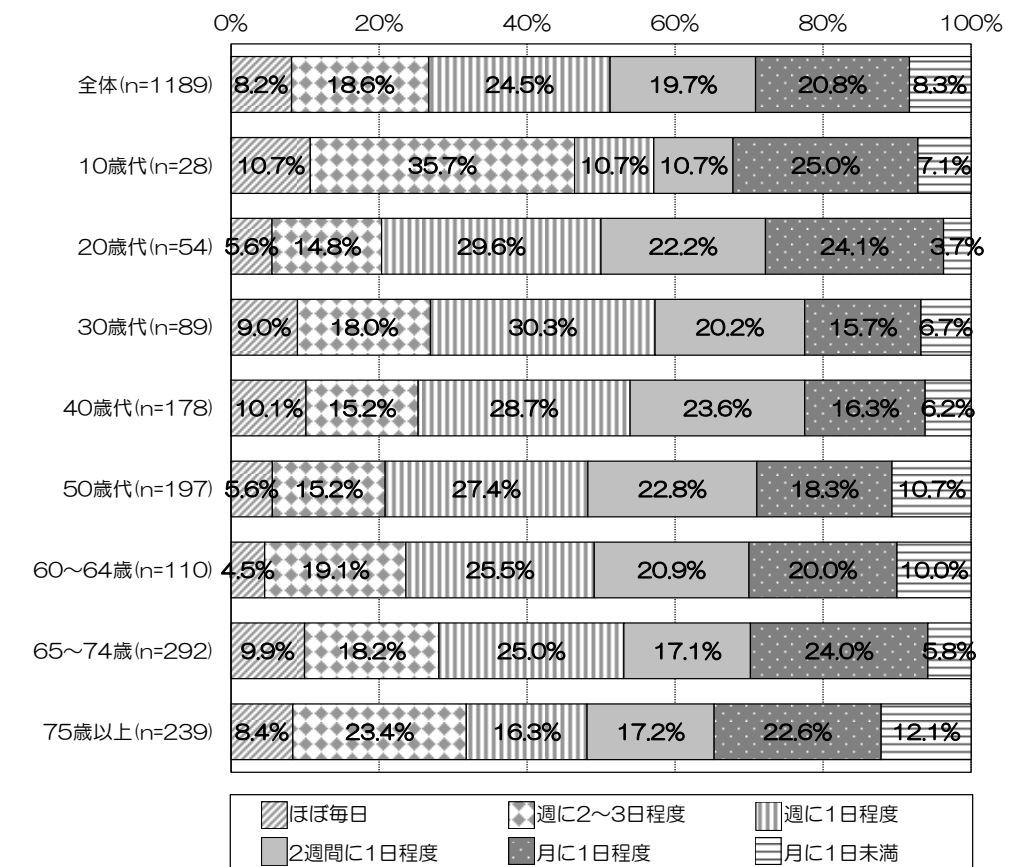
(2) 通勤・通学、買い物、通院以外で最もよく行く外出先への外出頻度

- 通勤・通学、買い物、通院以外での外出頻度は、「週に1日程度」の割合が約25%と最も高く、次いで「月に1日程度」が約21%です。
- 前回調査時とほぼ同じ傾向です。
- 通勤・通学、買い物、通院以外での外出頻度を年齢別で見ると、「週に2～3日程度」の割合が10歳代で最も高く、次いで75歳以上です。

【外出先の外出頻度】



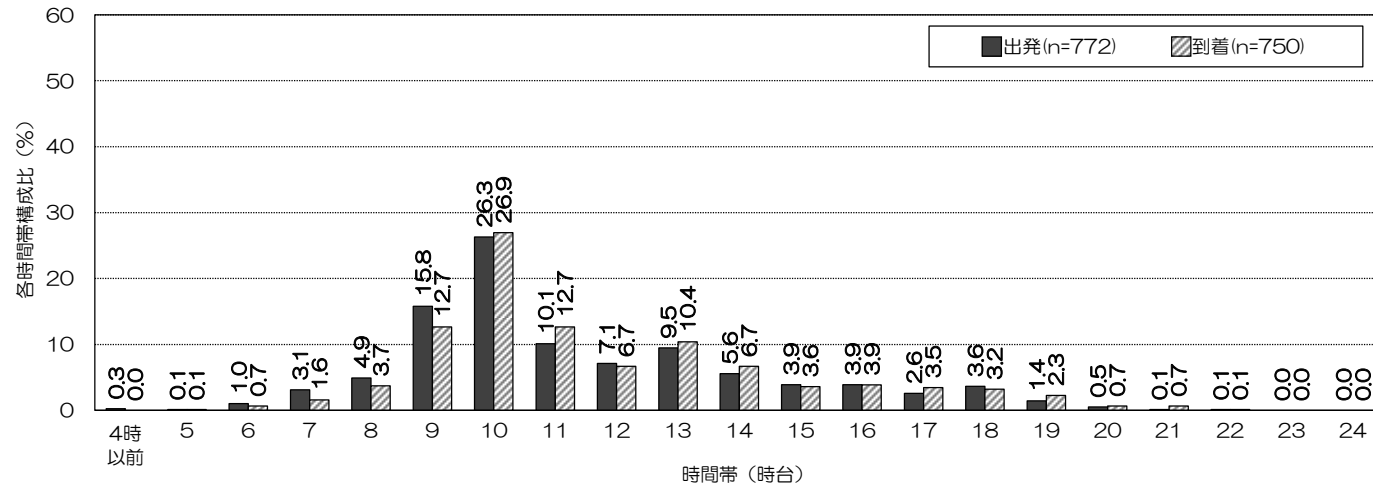
【外出先への外出頻度（年齢別）】



(3) 通勤・通学、買い物、通院以外で最もよく行く外出先への出発・到着時間

- ▶ 通勤・通学、買い物、通院以外の外出先への出発・到着時間を見ると、「出発」の割合は10時台が約26%と最も高く、次いで9時台が約16%と朝の時間帯にピークが見られます。
- ▶ 「到着」は、10時台が約27%と最も高く、次いで9時台及び11時台がともに約13%です。

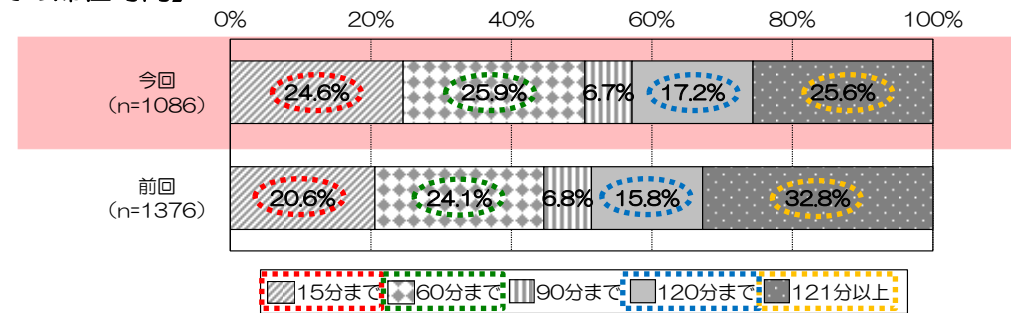
【外出先への出発・到着時間】



(4) 通勤・通学、買い物、通院以外で最もよく行く外出先での滞在時間

- ▶ 通勤・通学、買い物、通院以外の外出先での滞在時間の割合は、「60分まで」及び「121分以上」がともに約26%と最も高く、次いで「15分まで」が約25%です。
- ▶ 前回調査時と比較すると、「121分以上」の割合が減少し、「15分まで」、「60分まで」及び「120分まで」が増加しています。

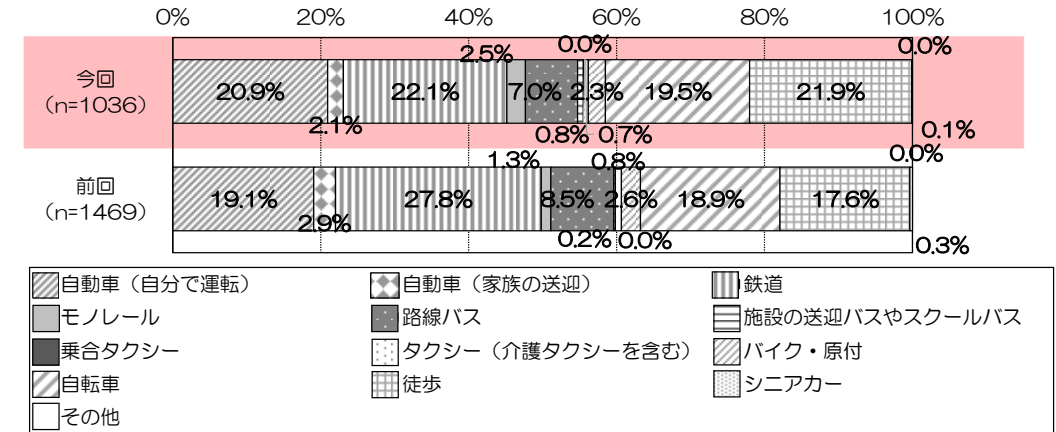
【外出先での滞在時間】



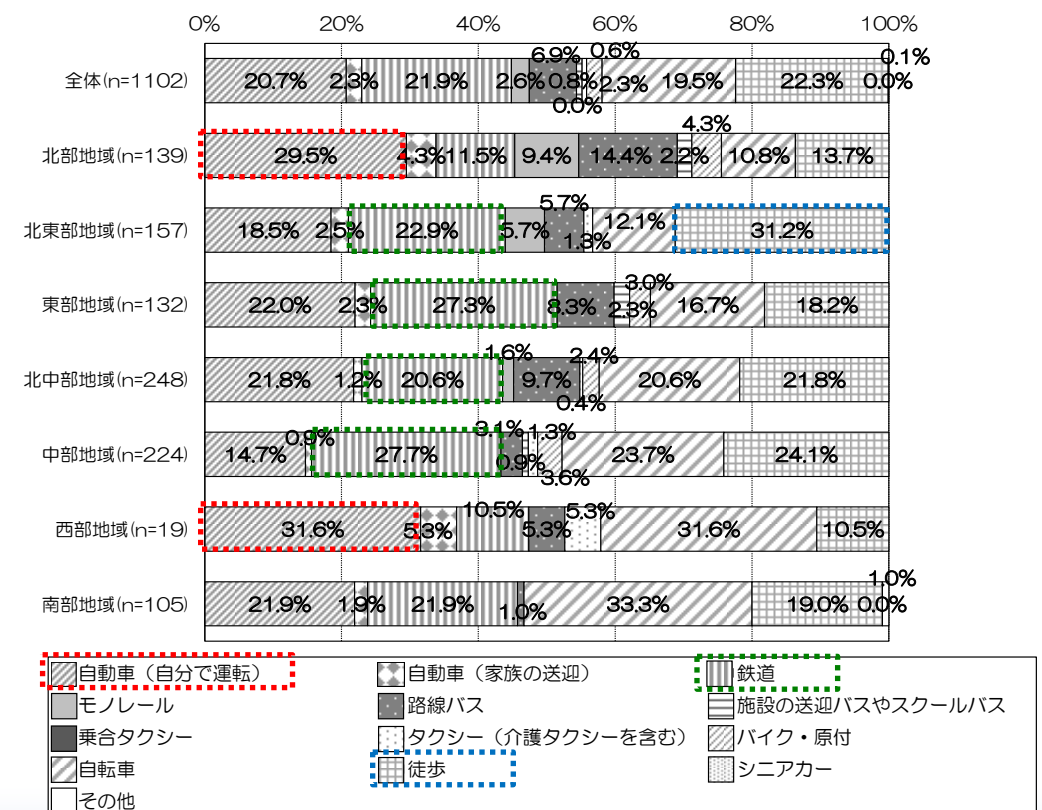
(5) 通勤・通学、買い物、通院以外で最もよく行く外出先への移動手段 (代表交通手段)

- ▶ 通勤・通学、買い物、通院以外の外出先への代表交通手段を見ると、「鉄道」及び「徒歩」の割合がともに約22%と最も高く、次いで「自動車 (自分で運転)」が約21%、「自転車」が約20%の順です。
- ▶ 前回調査時と比較すると、「鉄道」が約6%減少し、「徒歩」が約4%、「自動車 (自分で運転)」が約2%増加しています。
- ▶ 通勤・通学、買い物、通院以外の外出先への代表交通手段を住まいの地域別で見ると、「自動車 (自分で運転)」は北部地域、西部地域、「鉄道」は北東部地域、東部地域、中北部地域、中部地域、南部地域、「自転車」は西部地域、南部地域において、他地域と比べて割合が高くなっています。

【外出先への代表交通手段】



【外出先への代表交通手段 (住まいの地域別)】



(6) 通勤・通学、買い物、通院以外で最もよく行く外出先

- ▶ 通勤・通学、買い物、通院以外の外出先は、多くの地域において地域内が最も多くなっています。また、前回調査時とほぼ同じ傾向です。
- ▶ 通勤・通学、買い物、通院以外の総トリップ数は、前回調査時と比べて、新型コロナウイルス感染症拡大以降も外出頻度が低下しており、約 11,100 トリップ/日減少しています。

【通勤・通学、買い物、通院以外の外出先とトリップ数】

<今回（令和4年（2022年））>

（単位：トリップ/日）

住まいの地域（出発地）	外出先（目的地）																	特定 できず	合計
	豊中市内							豊中市外											
	北部地域	北東部地域	東部地域	中北部地域	中部地域	西部地域	南部地域	大阪市	吹田市	箕面市	池田市	茨木市	その他 大阪府内	兵庫県 伊丹市	兵庫県 尼崎市	その他 兵庫県内	その他		
北部地域	386	416	17	248	79	145	0	234	80	128	48	19	0	48	2	29	1	1,454	3,334
北東部地域	34	1,974	0	154	6	5	19	232	575	55	0	68	6	31	0	0	2	846	4,007
東部地域	50	453	736	338	297	48	51	364	365	68	89	0	0	0	14	0	105	1,212	4,190
中北部地域	118	428	191	1,719	364	167	51	1,182	153	239	86	40	0	100	26	287	24	2,503	7,678
中部地域	12	109	296	358	2,173	66	258	669	42	82	3	0	72	42	53	57	5	2,337	6,634
西部地域	0	0	0	15	2	114	3	78	0	0	0	0	0	0	44	2	0	222	480
南部地域	0	0	0	20	217	34	618	467	175	7	0	0	0	98	0	0	29	1,445	3,110
合計	600	3,380	1,240	2,852	3,138	579	1,000	3,226	1,390	579	226	127	78	319	139	375	166	10,019	29,433

<前回（平成26年（2014年））>

（単位：トリップ/日）

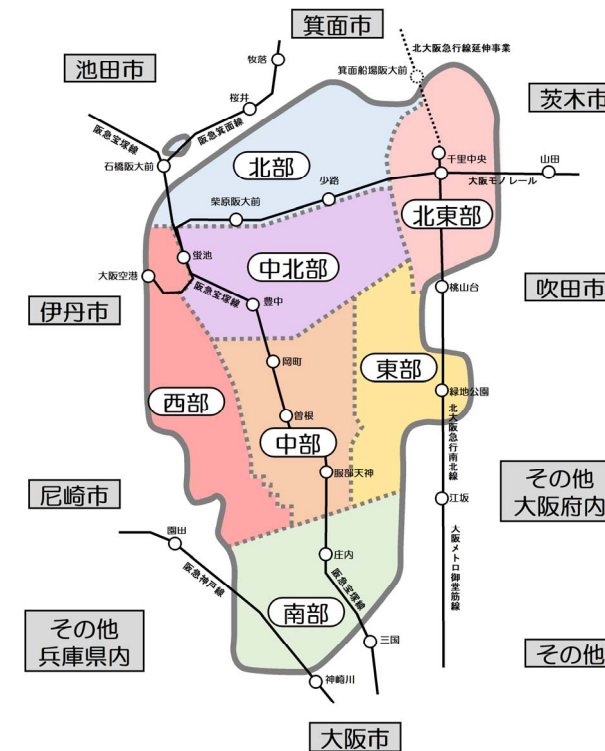
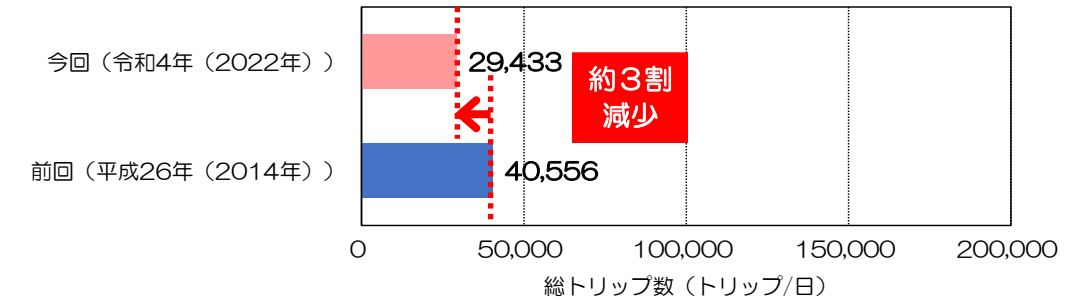
住まいの地域（出発地）	外出先（目的地）																	特定 できず	合計
	豊中市内							豊中市外											
	北部地域	北東部地域	東部地域	中北部地域	中部地域	西部地域	南部地域	大阪市	吹田市	箕面市	池田市	茨木市	その他 大阪府内	兵庫県 伊丹市	兵庫県 尼崎市	その他 兵庫県内	その他		
北部地域	825	577	20	301	28	0	0	337	293	684	244	10	134	0	2	78	0	1,943	5,476
北東部地域	72	2,051	46	108	120	0	0	608	501	198	2	130	29	0	0	105	58	2,144	6,172
東部地域	490	1,152	425	1,476	847	186	52	814	539	95	163	0	41	50	96	151	25	4,117	10,719
中北部地域	0	94	308	485	1,497	34	57	1,301	208	60	13	36	12	41	0	143	81	4,150	8,520
中部地域	0	0	0	139	335	117	26	137	5	0	132	0	9	36	242	9	0	811	1,998
西部地域	0	293	303	165	111	0	24	559	212	14	4	0	0	9	38	59	6	1,673	3,470
南部地域	73	4	75	18	115	0	762	773	171	0	18	52	2	0	10	34	0	2,094	4,201
合計	1,460	4,171	1,177	2,692	3,053	337	921	4,529	1,929	1,051	576	228	227	136	388	579	170	16,932	40,556

<増減状況>

（単位：トリップ/日）

住まいの地域（出発地）	外出先（目的地）																	特定 できず	合計
	豊中市内							豊中市外											
	北部地域	北東部地域	東部地域	中北部地域	中部地域	西部地域	南部地域	大阪市	吹田市	箕面市	池田市	茨木市	その他 大阪府内	兵庫県 伊丹市	兵庫県 尼崎市	その他 兵庫県内	その他		
北部地域	-439	-161	-3	-53	51	145	0	-103	-213	-556	-196	9	-134	48	0	-49	1	-489	-2,142
北東部地域	-38	-77	-46	46	-114	5	19	-376	74	-143	-2	-62	-23	31	0	-105	-56	-1,298	-2,165
東部地域	-440	-699	311	-1,138	-550	-138	-1	-450	-174	-27	-74	0	-41	-50	-82	-151	80	-2,905	-6,529
中北部地域	118	334	-117	1,234	-1,133	133	-6	-119	-55	179	73	4	-12	59	26	144	-57	-1,647	-842
中部地域	12	109	296	219	1,838	-51	232	532	37	82	-129	0	63	6	-189	48	5	1,526	4,636
西部地域	0	-293	-303	-150	-109	114	-21	-481	-212	-14	-4	0	0	-9	6	-57	-6	-1,451	-2,990
南部地域	-73	-4	-75	2	102	34	-144	-306	4	7	-18	-52	-2	98	-10	-34	29	-649	-1,091
合計	-860	-791	63	160	85	242	79	-1,303	-539	-472	-350	-101	-149	183	-249	-204	-4	-6,913	-11,123

【通勤・通学、買い物、通院以外の総トリップ数の推移】



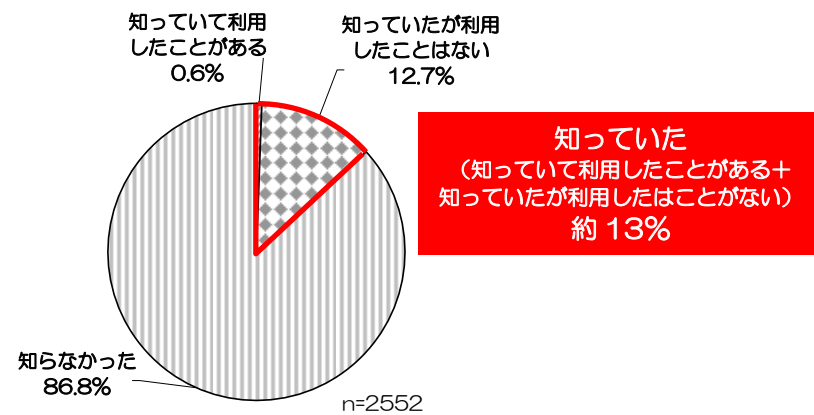
- ：上位1位から5位までのトリップ数を示す。
- ：上位6位から10位までのトリップ数を示す。
- ：下位10位から6位までのトリップ数を示す。
- ：下位5位から1位までのトリップ数を示す。

※ トリップ数は、アンケート結果に拡大係数を乗じた値としている。
 ※ 拡大係数は、10歳代（15～19歳）、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60～64歳、65～74歳、75歳以上の年齢層別に、平成26年10月1日現在の豊中市人口統計÷アンケートのサンプル数としている。
 ※ 各サンプルの外出頻度について、ほぼ毎日を1回/日、週に2～3日程度を7分の2.5回/日、週1日程度を7分の1回/日、2週間に1日程度を14分の1回/日、月に1日程度を30分の1回/日、月に1日未満を60分の1回/日として、トリップ数の算出に反映している。

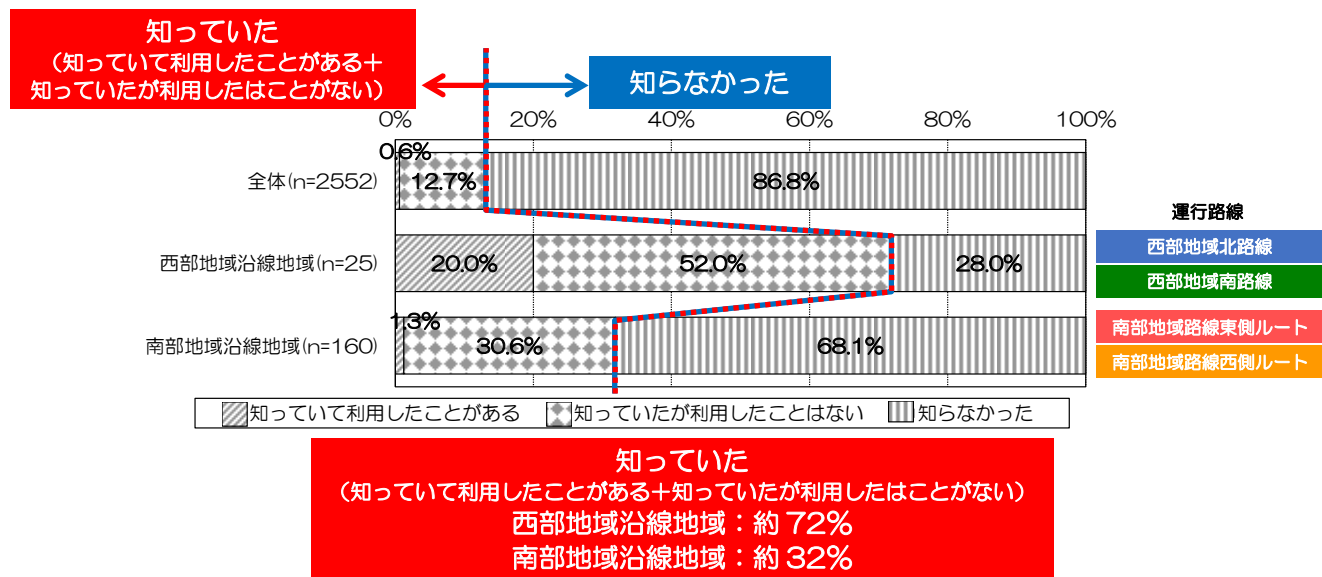
4.11 豊中市乗合タクシー（Mina Notte）について

- 豊中市乗合タクシー（Mina Notte）の認知状況を見ると、「知らなかった」の割合が約87%と最も高く、次いで「知っていたが利用したことはない」が約13%です。
- 豊中市乗合タクシー（Mina Notte）の認知状況を住まいの地域別で見ると、豊中市乗合タクシー（Mina Notte）の運行路線がある西部地域及び南部地域は、「知っていた（知っていて利用したことがある+知っていたが利用したことはない）」の割合が他地域と比べて高くなっています。
- 豊中市乗合タクシー（Mina Notte）の認知状況を年齢別で見ると、年代が上がるにつれて、知っていた（知っていて利用したことがある+知っていたが利用したことはない）の割合が増加しています。

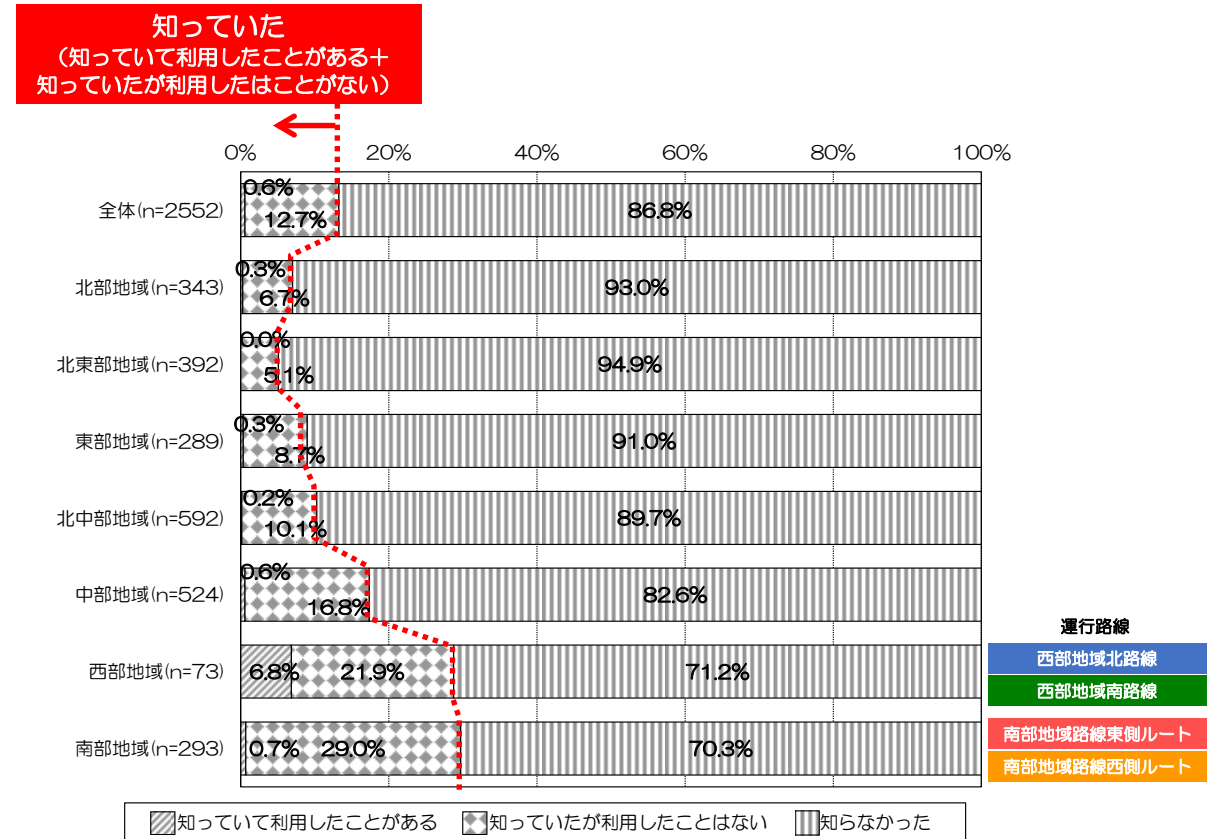
【豊中市乗合タクシー（Mina Notte）の認知状況】



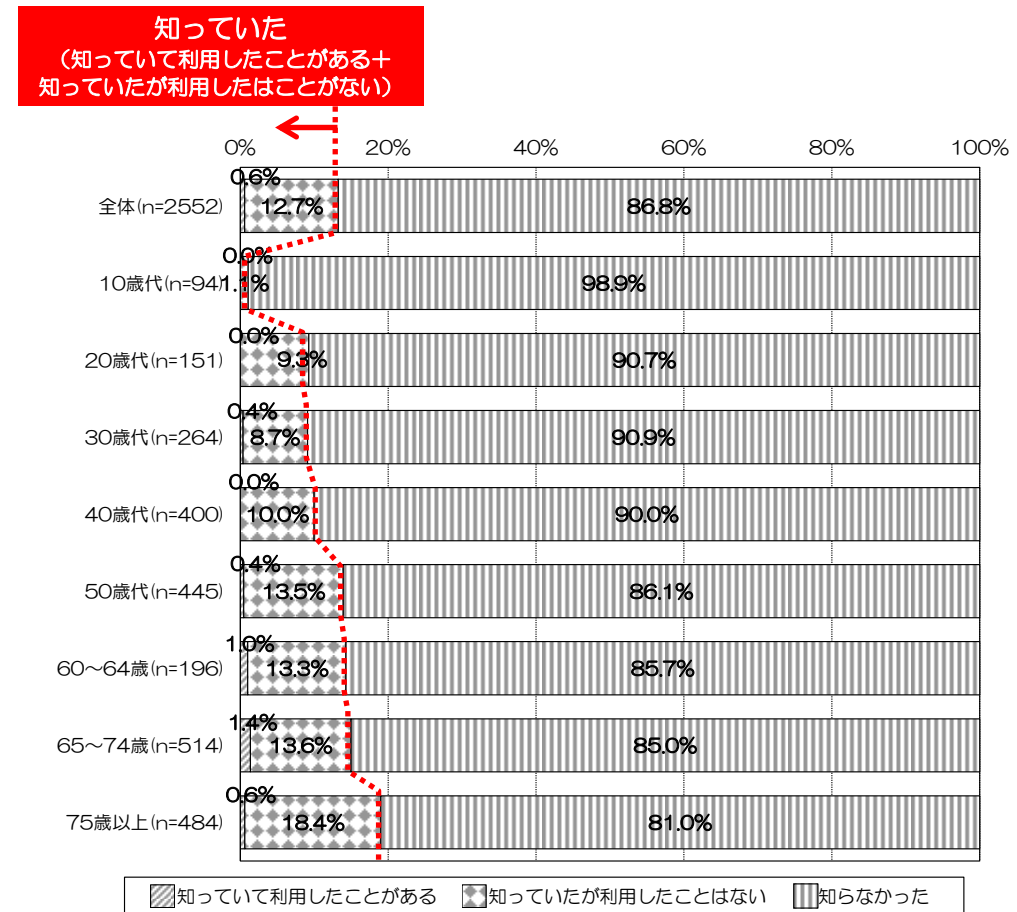
【参考】豊中市乗合タクシー（Mina Notte）の認知状況（沿線地域別）



【豊中市乗合タクシー（Mina Notte）の認知状況（住まいの地域別）】



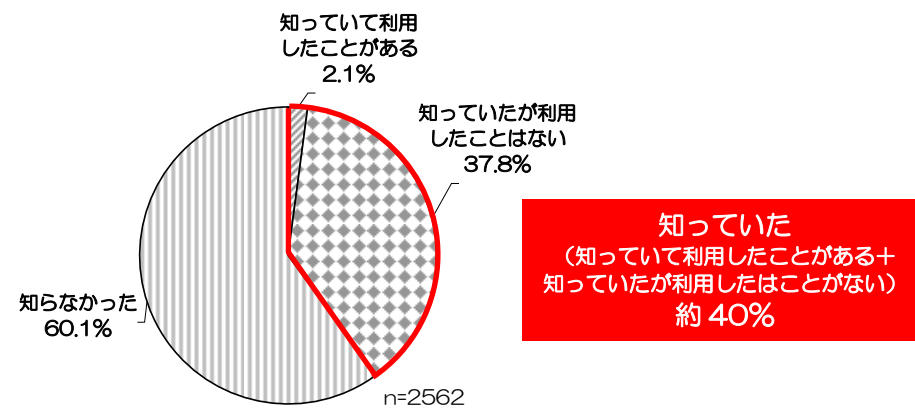
【豊中市乗合タクシー（Mina Notte）の認知状況（年齢別）】



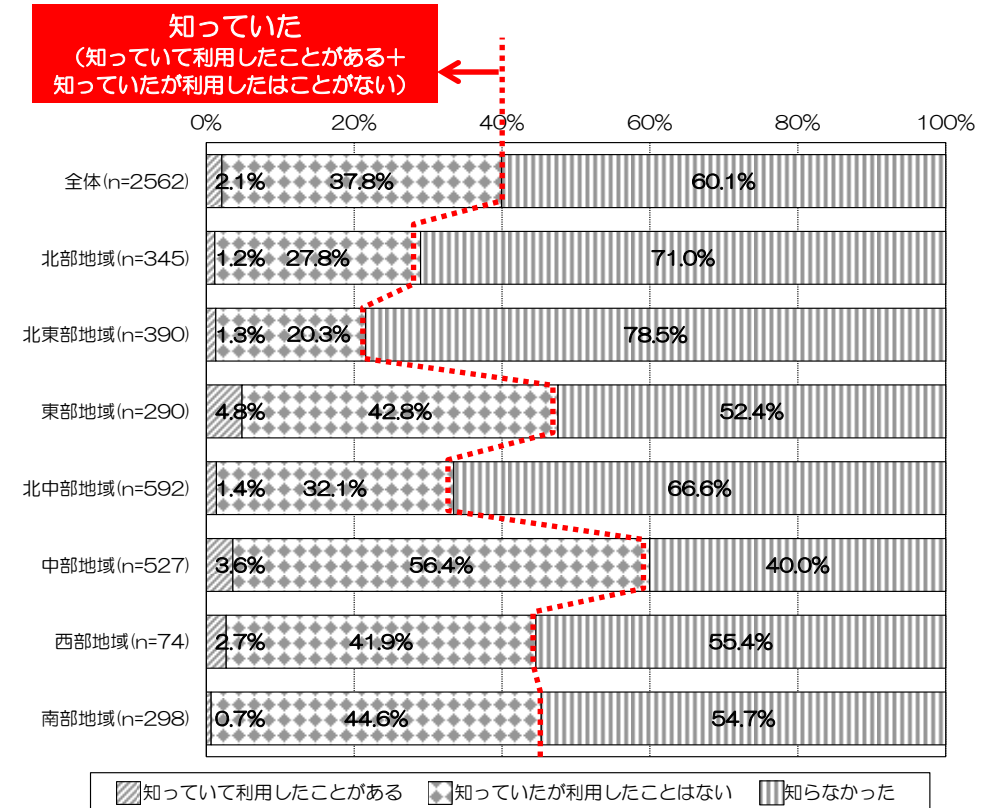
4.12 シェアサイクル実証実験について

- シェアサイクル実証実験の認知状況を見ると、「知らなかった」の割合が約 60%と最も高く、次いで「知っていたが利用したことはない」が約 38%です。
- シェアサイクル実証実験の認知状況を住まいの地域別で見ると、「知っていた（知っていて利用したことがある+知っていたが利用したことはない）」の割合は東部地域、中部地域、西部地域、南部地域で 40%以上となっています。
- シェアサイクル実証実験の認知状況を年齢別で見ると、「知っていた（知っていて利用したことがある+知っていたが利用したことはない）」の割合は 10 歳代及び 30 歳代から 65~74 歳で概ね 40%以上となっています。

【シェアサイクル実証実験の認知状況】



【シェアサイクル実証実験の認知状況（住まいの地域別）】



【シェアサイクル実証実験の認知状況（年齢別）】

